

令和6年度足立区地域包括ケアシステム推進会議
第2回地域包括支援センター運営協議部会

日時：令和7年2月28日（金）

午前10時から正午まで

場所：足立区役所 中央館 特別会議室

議長：大口部会長

会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

- （1）令和6年度地域包括支援センターの業務委託評価について
- （2）令和7年度地域包括支援センターの運営方針（案）について

3 報告事項

- （1）地域包括支援センターの区有施設への移転、統合、新設及び区域変更について
- （2）地域包括支援センター千住本町の移転について
- （3）令和7年度からの認知症検診事業について
- （4）はじめてのフレイル予防教室開催方法の見直しについて

4 別紙資料

- （1）地域包括支援センターの業務委託評価結果
- （2）令和7年度地域包括支援センターの運営方針（案）
- （3）地域包括支援センター毎の高齢者人口の推移と区域変更（案）
- （4）あだちオレンジチェック（認知症検診）スキーム
- （5）地域包括支援センターへ参加支援を委託している介護予防事業

5 参考資料

- （1）あだち脳活ラボのリーフレット

6 閉会

足立区地域包括支援センター運営協議部会 委員名簿

<敬称略、順不同>

令和6年7月1日現在

	役 職	氏 名	選出団体等	評価委員
1	部 会 長	大口 達也	学識経験者	○
2	副部会長	山下 俊樹	足立区医師会	
3	委 員	花田 豊實	足立区歯科医師会	
4	委 員	鈴木 康大	足立区薬剤師会	
5	委 員	和田 庸右	東京都柔道整復師会足立支部	
6	委 員	白井 良一	足立区介護サービス事業者連絡協議会 (居宅介護支援部会)	
7	委 員	中村 輝夫	足立区友愛クラブ連合会	○
8	委 員	鈴木 由美子	足立区民生・児童委員協議会	○
9	委 員	内藤 久子	足立区町会・自治会連合会	○
10	委 員	結城 宣博	足立区社会福祉協議会	○

※ 灰色で着色している委員は、新任の方です。

※ 評価委員とは、地域包括支援センターの業務委託評価を実施する方です。

地域包括支援センター運営協議部会 協 議 ・ 報 告 資 料

令和 7 年 2 月

1	協議事項	頁
(1)	令和 6 年度地域包括支援センターの業務委託評価について	・ ・ 1
(2)	令和 7 年度地域包括支援センターの運営方針（案）について	別紙
2	報告事項	
(1)	地域包括支援センターの区有施設への移転、統合、新設及び区域変更について	・ ・ 2
(2)	地域包括支援センター千住本町の移転について	・ ・ 4
(3)	令和 7 年度からの認知症検診事業について	・ ・ 5
(4)	はじめてのフレイル予防教室開催方法の見直しについて	・ ・ 6
3	別紙資料	
(1)	地域包括支援センターの業務委託評価結果	別紙 1
(2)	令和 7 年度地域包括支援センターの運営方針（案）	別紙 2
(3)	地域包括支援センター毎の高齢者人口の推移と区域変更（案）	別紙 3
(4)	あだちオレンジチェック（認知症検診）スキーム	別紙 4
(5)	地域包括支援センターへ参加支援を委託している介護予防事業	別紙 5
4	参考資料	
(1)	あだち脳活ラボのリーフレット	

令和7年2月

件名	地域包括支援センターの業務委託評価について													
所管部課名	福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課													
内 容	地域包括支援センター（以下「ホウカツ」という。）の令和6年度業務委託評価の結果及び令和7年度の実施方法について、協議する。													
	1 令和6年度の業務委託評価													
	(1) 実施方法													
	種類	時期	評価者	方法										
	自己評価	9月	在籍3年以下の ホウカツ職員	区が配付した「業務 内容に関する調査シ ート」を各自で実施										
	委員評価	1月 ～ 2月	ホウカツ毎に3名 (学識経験者、評価委員、 区所管課長) 名簿順 ・ 大口達也 (学識経験者) ・ 中村 輝夫 ・ 鈴木 由美子 ・ 内藤 久子 ・ 結城 宣博	評価者3名が、ホウカ ツ代表者とヒアリング を実施 (5日間)										
	履行評価	1月	区職員	4月から12月までの 月報報告書等を基に実施										
	取組評価													
	(2) 評価結果													
	別紙1のとおり													
<table><tr><td>評価の合計</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>良好 (8割以上)</td><td>25 か所</td><td>24 か所 (※)</td></tr><tr><td>普通 (6割以上8割未満)</td><td>0 か所</td><td>0 か所</td></tr><tr><td>不良 (6割未満)</td><td>0 か所</td><td>0 か所</td></tr></table>			評価の合計	R5	R6	良好 (8割以上)	25 か所	24 か所 (※)	普通 (6割以上8割未満)	0 か所	0 か所	不良 (6割未満)	0 か所	0 か所
評価の合計	R5	R6												
良好 (8割以上)	25 か所	24 か所 (※)												
普通 (6割以上8割未満)	0 か所	0 か所												
不良 (6割未満)	0 か所	0 か所												
※ 千住本町の評価は、令和6年8月から受託事業者が代わったため、結果から除外した。														
(3) 公表方法														
・ 地域包括ケアシステム推進会議に報告														
・ 足立区ホームページに掲載														
・ ホウカツに通知														
・ その他、事務局が必要と判断したもの														
2 令和7年度の業務委託評価														
(1) 実施方法														
令和6年度と同様の方法で実施														
※ 「評価基準」及び「評価項目」は、事業毎に適宜見直しを行う。														

地域包括支援センター運営協議部会 資料

令和7年2月

件 名	地域包括支援センターの区有施設への移転、統合、新設及び区域変更について																		
所管部課名	福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課																		
内 容	地域包括支援センター（以下「ホウカツ」という）の設置場所変更、新設及び区域変更について、以下のとおり報告する。 1 目的 （１）区民にとってわかりやすいホウカツの場所【区有施設への移転】 令和7年度から開始するプロポーザルによる事業者選定等の際し、ホウカツ受託法人の変更があっても設置場所が変わらないように、可能な限り区有施設に移転する。 （２）高齢者人口の平準化【ホウカツ統合、新設、区域変更】 現在でも、1ホウカツあたりの高齢者人口は最大で約4倍の開きがある。今後、足立区の高齢者人口は、令和6年の約17万人から、令和17年には約20万人に増えると推計され、さらに差が拡大することが想定されるため、1ホウカツの高齢者人口をできる限り均一化するよう努める。 2 概要 （１）千住地区 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月</th><th>項目</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年3月</td><td>移転</td><td>ホウカツ千住本町を生涯学習センター（千住5-13-5 学びピア21）の7階（旧レストランさくら）へ移転する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">令和9年以降</td><td>統合</td><td>ホウカツ日の出をホウカツ千住本町（千住5-13-5）と統合し、千住地区のホウカツを4か所から3か所にする。</td></tr> <tr> <td>区域変更</td><td>統合に合わせ2か所のホウカツ（千住本町（仮称）、千寿の郷）の担当区域を変更する。</td></tr> </tbody> </table> （２）東部地区 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月</th><th>項目</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和10年</td><td>新設</td><td>令和10年に集約建て替え予定の大谷田区営住宅（大谷田1-35-1）には、東部福祉課の移転併設が予定されているが、加えてホウカツを新設する。</td></tr> </tbody> </table>		年月	項目	内容	令和7年3月	移転	ホウカツ千住本町を生涯学習センター（千住5-13-5 学びピア21）の7階（旧レストランさくら）へ移転する。	令和9年以降	統合	ホウカツ日の出をホウカツ千住本町（千住5-13-5）と統合し、千住地区のホウカツを4か所から3か所にする。	区域変更	統合に合わせ2か所のホウカツ（千住本町（仮称）、千寿の郷）の担当区域を変更する。	年月	項目	内容	令和10年	新設	令和10年に集約建て替え予定の大谷田区営住宅（大谷田1-35-1）には、東部福祉課の移転併設が予定されているが、加えてホウカツを新設する。
年月	項目	内容																	
令和7年3月	移転	ホウカツ千住本町を生涯学習センター（千住5-13-5 学びピア21）の7階（旧レストランさくら）へ移転する。																	
令和9年以降	統合	ホウカツ日の出をホウカツ千住本町（千住5-13-5）と統合し、千住地区のホウカツを4か所から3か所にする。																	
	区域変更	統合に合わせ2か所のホウカツ（千住本町（仮称）、千寿の郷）の担当区域を変更する。																	
年月	項目	内容																	
令和10年	新設	令和10年に集約建て替え予定の大谷田区営住宅（大谷田1-35-1）には、東部福祉課の移転併設が予定されているが、加えてホウカツを新設する。																	

令和10年	区域 変更	ハウカツ新設に合わせ4か所のハウカツ（さの、東和、中川、大谷田（仮称））の担当区域を変更する。
施設改修後	移転	ハウカツ東和（東和4-7-23）を現在の東部福祉課（東綾瀬1-26-2）に移転する。

3 ホウカツごとの高齢者人口の推移と区域変更案

別紙3のとおり

4 スケジュール

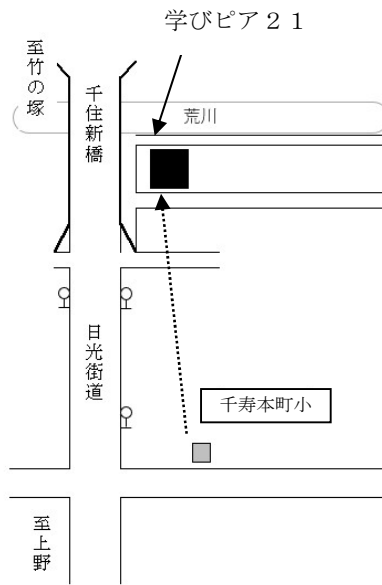
（1）千住地区

年月	内容
令和6年10月 ～11月	議会、運営委託法人、町会自治会、民生委員に説明
令和7年 4月	ハウカツ千住本町は学びピア21で事業開始
令和9年以降	区域変更、3か所で運営を開始

（2）東部地区

年月	内容
令和6年10月 ～11月	議会、運営委託法人、町会自治会、民生委員に説明
令和10年4月	ハウカツ大谷田（仮称）開設、区営住宅大谷田二丁目アパートで事業開始 区域変更、4か所で運営を開始

令和7年2月

件 名	「地域包括支援センター千住本町」の移転について
所管部課名	福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課
内 容	地域包括支援センター千住本町について、以下のとおり、事務所の移転について報告する。 1 現住所 足立区千住三丁目7番地 平松ビル101 2 移転先 足立区千住五丁目13番5号 生涯学習センター（学びピア21）7階 3 運営開始日 令和7年3月17日（月） 4 周知方法 （1）区ホームページに掲載 （2）あだち広報（2月10日号）に掲載 （3）地域包括支援センター等で案内チラシを配布 （4）担当地域の町会・自治会に回覧板を回し、掲示板に貼付 5 運営委託法人 社会福祉法人 東京蒼生会 6 担当地域 千住、千住元町、千住大川町、千住寿町、千住柳町 7 電話番号・FAX番号（変更なし） 電 話 3888-1510 FAX 5813-8336 

件名	令和7年度からの認知症検診事業（案）について																									
所管部課名	福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課																									
内 容	令和4年度から実施している認知症検診事業は、認知症に関する正しい知識の普及啓発や、早期発見・対応の促進を目的としている。令和7年度から開始する「あだち脳活ラボ」で早期発見した方を、より早く適切な支援につなげられるよう、従来の認知症検診に加え、内容の一部を変更して実施する。 1 変更内容 <table><tr><th></th><th>変更前(令和4～6年度)</th><th>変更後（令和7年度以降）</th></tr><tr><td>事業名</td><td>あたまの健康度測定</td><td>あだちオレンジチェック ※ 変更前の名称は「印象が良くない」というご意見があり、足立区医師会と協議し、認知症支援のシンボルカラーである「オレンジ」を取り入れた名称に変更した。</td></tr><tr><td>対象</td><td>70歳</td><td>(1) 70歳 (2) 介護予防チェックリストで認知機能低下の疑いのある方 (3) 「あだち脳活ラボ」によるJ-MCI（50歳以上）、Cognitrax（65歳以上）で認知症機能低下の疑いのある方</td></tr><tr><td>検診方法</td><td>個別検診 集団検診</td><td>個別検診 ※ 50歳～64歳までの方には若年性認知症にも対応できる医療機関を案内する</td></tr><tr><td>検査方法</td><td>個別検診：長谷川式またはMMSE 集団検診：のう KNOW</td><td>個別検診：長谷川式またはMMSE</td></tr><tr><td>期間</td><td>個別検診：5月中旬～8月末 集団検診：2日間</td><td>個別検診：5月中旬～2月末</td></tr><tr><td>検診後支援 ※ 実施者および支援期間</td><td>名 称：伴走支援制度 実施者：訪問看護ステーション 期 間：6か月</td><td>名 称：あだちオレンジサポート 実施者：認知症地域支援推進員 期 間：3か月</td></tr><tr><td>検診医療機関の検診後の対応</td><td>なし</td><td>検診医療機関から「認知機能低下疑い有」の方を一般診療に紹介し、その後認知症と診断された件数を区に報告する。</td></tr></table> ※ 認知機能低下の疑いがあると判断され、支援を希望した人に対して住み慣れた地域で生活していくために、適切な支援を提供する。 2 今後の方針 (1) 変更した内容を踏まえて、認知症検診事業の安定した運営を目指す。 (2) 新たな認知症検診事業について、効果検証を進めていく。			変更前(令和4～6年度)	変更後（令和7年度以降）	事業名	あたまの健康度測定	あだちオレンジチェック ※ 変更前の名称は「印象が良くない」というご意見があり、足立区医師会と協議し、認知症支援のシンボルカラーである「オレンジ」を取り入れた名称に変更した。	対象	70歳	(1) 70歳 (2) 介護予防チェックリストで認知機能低下の疑いのある方 (3) 「あだち脳活ラボ」によるJ-MCI（50歳以上）、Cognitrax（65歳以上）で認知症機能低下の疑いのある方	検診方法	個別検診 集団検診	個別検診 ※ 50歳～64歳までの方には若年性認知症にも対応できる医療機関を案内する	検査方法	個別検診：長谷川式またはMMSE 集団検診：のう KNOW	個別検診：長谷川式またはMMSE	期間	個別検診：5月中旬～8月末 集団検診：2日間	個別検診：5月中旬～2月末	検診後支援 ※ 実施者および支援期間	名 称：伴走支援制度 実施者：訪問看護ステーション 期 間：6か月	名 称：あだちオレンジサポート 実施者：認知症地域支援推進員 期 間：3か月	検診医療機関の検診後の対応	なし	検診医療機関から「認知機能低下疑い有」の方を一般診療に紹介し、その後認知症と診断された件数を区に報告する。
		変更前(令和4～6年度)	変更後（令和7年度以降）																							
	事業名	あたまの健康度測定	あだちオレンジチェック ※ 変更前の名称は「印象が良くない」というご意見があり、足立区医師会と協議し、認知症支援のシンボルカラーである「オレンジ」を取り入れた名称に変更した。																							
	対象	70歳	(1) 70歳 (2) 介護予防チェックリストで認知機能低下の疑いのある方 (3) 「あだち脳活ラボ」によるJ-MCI（50歳以上）、Cognitrax（65歳以上）で認知症機能低下の疑いのある方																							
	検診方法	個別検診 集団検診	個別検診 ※ 50歳～64歳までの方には若年性認知症にも対応できる医療機関を案内する																							
	検査方法	個別検診：長谷川式またはMMSE 集団検診：のう KNOW	個別検診：長谷川式またはMMSE																							
	期間	個別検診：5月中旬～8月末 集団検診：2日間	個別検診：5月中旬～2月末																							
	検診後支援 ※ 実施者および支援期間	名 称：伴走支援制度 実施者：訪問看護ステーション 期 間：6か月	名 称：あだちオレンジサポート 実施者：認知症地域支援推進員 期 間：3か月																							
	検診医療機関の検診後の対応	なし	検診医療機関から「認知機能低下疑い有」の方を一般診療に紹介し、その後認知症と診断された件数を区に報告する。																							

件 名	はじめてのフレイル予防教室開催方法の見直しについて
所管部課名	福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課
内 容	地域包括支援センター（以下、「ホウカツ」）に委託している参加支援業務のうち、「はじめてのフレイル予防教室」について、以下のとおり、開催方法の見直しについて報告する。 ※ ホウカツの参加支援業務は、その他2つ （みんなで元気アップ教室、元気アップサポーター養成研修） 1 はじめてのフレイル予防教室の概要等 別紙5のとおり （1）概要 介護予防チェックリストで生活機能の低下が見られた方に対して、運動・栄養・口腔といったフレイル予防の基礎を学ぶ教室。 初回と最終回に体力測定を実施し効果を図っている。 （2）参加支援 ホウカツ職員が、実態把握調査で対象者の身体状況を確認し、参加支援を行う。 （3）開催内容 ア 全12回の連続講座型（12回1クール） イ 年2期制（前期：5月～8月頃、後期：9月～12月頃） ウ 全25ホウカツ圏域で1、2会場設置 （4）経過支援 ホウカツ職員は、教室終了日から2ヵ月後、参加者のフレイル予防実施状況を確認 2 課題 （1）猛暑や台風が多い時期の開催 介護認定のリスクが高い高齢者の安全な参加や実態把握に携わるホウカツ職員の安全管理に影響があるため。 3 原因 （1）全12回の連続講座 高齢者に対する運動機能向上プログラムは、一般的に週1回、合計3ヶ月を1クールとした進め方が適当とされている（介護予防マニュアル抜粋）。 また、高齢者が通いやすいように、曜日を固定して開催するため、祝日等が重なると3ヶ月以上になることもある。

4 見直し内容

教室の運営を委託している複数の事業者と協議を重ね、以下の内容でも「高齢者に必要な機能訓練の効果は担保できる」と意見をいただいた。

(1) 連続講座の回数を変更

1 クールの開催回数を全 12 回から全 10 回に変更する。

前期の最終 2 回、後期の初回 2 回分を変更



(2) 開催時間を変更

1 回の教室で開催される時間を 75 分から 90 分に変更する。

※ コロナ禍前の時間と同様

	令和 6 年度	令和 7 年度
年間開催数	前期・後期	前期・後期
開催時間	75 分	90 分
総時間数	900 分	900 分

5 今後の方針

(1) 地域包括支援センターへ変更内容の周知

(2) 見直しにより、どのような影響があったか参加支援の結果から把握し、次回以降の参考にしていく。

令和 7 年度 足立区地域包括支援センター 運営方針

足立区
福祉部高齢者施策推進室
高齢者地域包括ケア推進課
医療介護連携課
介護保険課
地域のちから推進部
絆づくり担当課

目 次

第1 地域包括支援センターの目的

第2 地域包括支援センターの運営体制と基本方針

1 運営体制

- (1) 適正な人員配置
- (2) 職員の姿勢
- (3) 職員および地域包括支援センター全体のスキルアップ
- (4) 地域包括支援センター評価の実施
- (5) 足立区及び他地域包括支援センターとの連携強化

2 基本方針

- (1) 公益性
- (2) 地域性
- (3) 協働性

第3 地域包括支援センターの事業内容

1 総合相談支援業務

- (1) 総合相談
- (2) 地域包括支援ネットワークの構築
- (3) 実態把握

2 権利擁護業務

- (1) 高齢者虐待の防止及び対応
- (2) 在宅生活の継続が困難となった高齢者
- (3) 消費者被害防止の啓発
- (4) 成年後見制度の周知及び利用支援

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- (1) 地域における包括的・継続的マネジメント体制の構築
- (2) 介護支援専門員への支援

4 第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援

5 在宅医療・介護連携推進事業

- (1) 世話人会への出席
- (2) 多職種連携研修会への出席
- (3) スキルアップ研修への出席
- (4) 地域の医療・介護関係者との連携強化

6 生活支援体制整備事業

- (1) 地域の支援ニーズと地域資源のマッチング
- (2) 地域資源の把握
- (3) 地域の担い手の発掘と育成
- (4) 自主グループ創出への支援
- (5) 通いの場への支援
- (6) 絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）の運営
- (7) 第一層との関わり方

7 一般介護予防事業

- (1) 一般介護予防事業の推進
- (2) 一般介護予防事業参加の支援
- (3) 介護予防教室（出前講座含む）の実施

8 認知症総合支援事業

- (1) 認知症の普及啓発・本人発信支援
- (2) 認知症の早期発見・早期対応
- (3) 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり
- (4) 若年性認知症の人とその家族に対する支援
- (5) 認知症地域支援推進員の役割

9 地域ケア会議推進事業

- (1) 地域ケア会議の目的
- (2) 地域ケア会議の体系

10 寄り添い支援活動事業（絆のあんしんネットワーク）

- (1) 孤立ゼロプロジェクトの推進
 - (2) 絆のあんしんネットワークの強化
 - (3) 関係機関との連携強化
- ### 第4 基幹地域包括支援センター

第4 基幹地域包括支援センター

1 基幹地域包括支援センターの役割

- (1) 統制機能
- (2) 関係機関との調整機能
- (3) 介護支援専門員への後方支援
- (4) ホウカツへの支援

2 生活支援体制整備事業（第1層生活支援コーディネーター）

- (1) 第二層生活支援コーディネーターとの連携

第5 その他

- 1 事業計画書の作成
- 2 報告書の作成
- 3 事業に係る経理処理
- 4 介護保険外サービスの取次
- 5 個人情報保護
- 6 災害発生時の対応
- 7 事故等における報告の流れ

第 1 地域包括支援センターの目的

地域包括支援センター（以下「ホウカツ」という。）は、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的としています。

また、ホウカツは、地域包括ケアシステムの構築に向けて、中心的役割を果たし、かつ、有効に機能させることが求められています。そのため、社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員等が、その専門知識や技能を互いに活かしながらチームで活動し、地域住民や関係機関とともに地域のネットワークを構築しながら、地域住民の様々なニーズに応えることができる地域に密着したワンストップの総合相談拠点になることです。

第 2 地域包括支援センターの運営体制と基本方針

1 運営体制

（1）適正な人員配置

ホウカツ（法人等）は、介護保険法等に規定される基準に従い、社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員等の専門職を配置する他、地域における高齢化の状況（要介護・要支援者の増加等）、相談件数、困難事例及び休日・夜間の対応状況等を総合的に勘案し、ホウカツの専門職等が地域ケア会議及び地域への訪問や実態把握等に係る活動が十分に行えるように、適正な人員を配置します。

なお、令和 2 年度から、高齢者の人口や実態把握対象者等に応じて、ホウカツの人員配置基準を設けており、この基準を目安に、ホウカツの業務量と役割に応じた適正な人員を配置します。

（2）職員の姿勢

ホウカツ職員は、ホウカツの設置目的を念頭に置き、常に地域で暮らす高齢者に最善の利益を図るため業務を遂行します。業務の遂行にあたっては「公平性・中立性」を第一に考え、高齢者自身の意思を尊重し、高齢者の視点に立って支援を進めます。

（3）職員およびホウカツ全体のスキルアップ

ホウカツ職員は、相談技術、ケアマネジメント技術の向上、その他地域包括業務に必要な知識や技術の習得を目的とした研修や講演会、各職種別の専門性を高めるための勉強会等に積極的に出席します。また、各職員が学んだ知識や技術を全職員へ伝達することで、全体のスキルアップを図ります。

(4) ホウカツ評価の実施

ホウカツは、足立区が実施する自己評価（地域包括支援センター評価点検システム）に取り組み、ホウカツの業務及び求められている機能を実施しているかを網羅的に点検するための指標として活用します。また、評価結果を基に、実施できていない項目については、足立区とホウカツ間で、要因や背景を分析・共有し、事業の質の向上及び業務改善を図ります。

(5) 足立区及び足立区内ホウカツとの連携強化

ホウカツの業務は、高齢者の総合相談窓口として多岐に渡っており、業務を推進する上では足立区の関係部署との連携が必要です。支援困難な事例にも迅速に対応できるように、足立区の関係部署や基幹地域包括支援センターと日常的な連携を深めていきます。また、足立区が行う高齢者施策に基づく各種事業に協力し、高齢者の保健福祉の向上に努めます。広域的な社会資源の情報共有化、また事業効果を高めるため必要に応じ事業をブロック単位で共催するなど、他のホウカツとの連携を図っていきます。（東部ブロック：さの・東和・中川・西綾瀬、西部ブロック：入谷・扇・江北・鹿浜・西新井、西新井本町、北部ブロック：伊興・はなはた・一ツ家・保木間・六月、中部ブロック：基幹・あだち・関原・中央本町・本木関原、千住ブロック：新田・千住西・千寿の郷・千住本町・日の出）

ア 地域包括支援センター長会

地域包括の運営に関わる事項の情報伝達、意見交換を行います。

イ 地域包括支援センター連絡会

高齢者福祉・介護保険制度に関わる情報周知、関係機関との情報共有、足立区及び他ホウカツとの情報交換・意見交換・調整を行います。

ウ ブロック会議

東部、千住、西部、中部、北部のブロックごとに地域包括業務に関する情報交換、合同事業の検討を行います。

エ 絆のあんしんネットワーク検討会

「絆のあんしんネットワーク」を推進するために、担当者間の意見交換や実務や事務の改善に向けた検討を行います。

オ その他、高齢者の健康・福祉増進に資するため、特に検討する必要がある事案について設定された会議・検討会に出席します。

2 基本方針

(1) 公益性

ホウカツは、足立区の介護・福祉行政の一翼を担う「公益的な機関」として、公正で中立性の高い事業運営を行います。

介護予防支援業務を行う場合及び当該業務を委託する場合、並びに要介護者に対し居宅介護支援事業所を紹介する場合には、不当に特定の事業者に偏ることのないよう中立性の確保に努めます。その際、利用者の利益を尊重し、適切なサービスの提供が受けられるように配慮します。

ホウカツの運営費用は、足立区民が負担する介護保険料や国・都・足立区の公費によって賄われていることを十分に理解し、適切な事業運営を行います。

(2) 地域性

ホウカツは、地域の介護・福祉サービスの提供体制を支える中核的な機関であり、圏域内の地域特性や実情を踏まえた適切かつ柔軟な事業運営を行います。

地域包括支援センター運営協議会や地域ケア会議、その他地域で行われている活動等を通じて、地域住民や関係機関、サービス利用者の意見を幅広く汲み上げ、日々の活動に反映させるとともに、地域が抱える課題を把握し、解決に向けて積極的に取り組みます。

(3) 協働性

ホウカツは、社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員等を配置し、それぞれの専門性を活用しながら相互に情報共有、連携、協働する「チームアプローチ」を実践し、多面的な視点で相談支援や地域課題に対応します。

さらに、地域の保健・福祉・医療の専門職や民生委員等の関係者、基幹地域包括支援センター等の関係機関と連携を図りながら業務を推進します。

第3 地域包括支援センターの事業内容

(包括的支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業、その他事業)

1 総合相談支援業務

総合相談支援業務は、他の全ての業務の入り口であり、ハウカツの業務を展開するための基盤となるものです。課題を抱えた高齢者を早期に発見し、ハウカツへつなげ、適切なサービスや機関又は制度の利用につなげる等の支援を行います。支援の展開を可能にするためには、地域包括支援ネットワークの構築が不可欠であり、ハウカツとしての活動や地域ケア会議等を通じて日頃から積み重ねてきた関係性が必要になります。

(1) 総合相談

地域に住む高齢者等に関する様々な相談に対応し、適切なサービスや制度等の情報提供や関係機関の紹介等を行います。

専門的な関与や緊急対応が必要な場合には、より詳細な情報収集を行い、課題を明確にした上で適切なサービスや制度につなぎ、継続的な支援を行います。

また、保健福祉サービスの代行申請等の支援を行うとともに、当該高齢者の実態把握を行います。

(2) 地域包括支援ネットワークの構築

支援の必要な高齢者の把握及び継続的な支援のために、高齢者に関わる医療、介護、福祉サービス関係者、民生委員等地域の関係者とのネットワーク構築に努めます。

(3) 実態把握

加齢に伴って心身に変化が生じた高齢者に対し、介護が必要になる前から、また介護が必要になった後も、それぞれの状態に応じた適切な支援・対応を提供できるように、ハウカツとして、少しでも早い段階から接し、対応と情報の蓄積を行います。

実態把握は、「実態把握マニュアル」に基づいて、実施します。

2 権利擁護業務

権利擁護業務は、地域の住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のために必要な支援を行います。

(1) 高齢者虐待の防止及び対応

高齢者虐待に関する通報、相談については初動の対応が重要です。深刻な事態になる前に、ホウカツは関係機関との連携及び事実確認を行い、早期発見と早期対応をします。また、見守り体制の構築に努めます。高齢者虐待の背景には、複雑な要因が重なっていることが多く、困難事例に対してはホウカツの三職種の職員が専門性を発揮し、チームの力を活かして対応します。また、問題解決を円滑に進めるために、高齢者虐待防止ネットワークにおける関係機関が相互に連携し、適切な介入を行います。なお、セルフ・ネグレクト状態にある高齢者に対しても、高齢者虐待に準ずる対応をします。

ア 事例の危険性、緊急性に応じ、「養護者による高齢者虐待対応マニュアル」に沿って適切に対応します。

イ 虐待（疑いも含む）の通報・相談があった場合は、その全件を医療介護連携課高齢援護係に報告します。さらに「利用者基本情報」とあわせ「虐待相談受付票」を作成し、速やかに複数人・複数職種による訪問等による面接によって事実確認を行います。

ウ 関係者によるケースカンファレンスを開催し、介護支援専門員等の関係者と連携して介入に必要な情報や課題の整理を行い、迅速に支援方針を決定します。

(2) 在宅生活の継続が困難となった高齢者

独居高齢者あるいは高齢者のみ世帯が、在宅生活の継続が困難となる原因は多くあります。典型的な例は、高齢者本人の認知症等による判断能力低下が、日常生活の金銭管理や口座管理を困難にして、その結果、ライフラインの中断や家賃滞納、介護サービス利用料等の滞納が発生する場合です。その他にもアルコールやギャンブルへの依存による多重債務、治療の継続が必要な方の医療中断や服薬管理の困難、ゴミ屋敷、ひきこもり、認知症の周辺症状等による近隣者とのトラブル等、これらの問題が複合して、結果として独居高齢者又は高齢者のみ世帯が、在宅生活を継続することが困難となっています。

このような高齢者を支援して、その権利を守るためには、高齢者虐待ケースへの対応に準じた、早期対応、緊急対応、関連する諸制度を担当する職員を含めたチームの形成等が必要です。

このような高齢者の相談が来た場合、その高齢者へ緊急対応が必要な場合や、高齢者の置かれた状況が行政の介入が必要と判断される場合、対応が困難な場合には、虐待通報に準じた方法で、高齢援護係への通報を行います。

(3) 消費者被害防止の啓発

判断能力が低下している高齢者は消費者被害への自覚が乏しく、発見時に多額の被害にあっているという特徴があります。絆のあんしんネットワーク関係者や介護支援専門員、訪問介護事業者、地域住民等から消費者被害に関する情報がホウカツにもたらされるよう働きかけるとともに、消費者センターと連携し消費者被害防止のための啓発に努めます。

ア 絆のあんしんネットワーク関係者及び介護事業者等との連絡会を通じ 情報交換を行います。

イ 高齢者を対象とした消費者被害防止に関する講習会を開催します。

(4) 成年後見制度の周知及び利用支援

認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加に伴い、日常生活での金銭管理に支障をきたす事例が発生していることから、地域福祉権利擁護事業等との効果的な連携による成年後見制度の利用を促進していく必要があります。

ハウカツは、このような不安を抱える高齢者の相談に応じ、権利擁護センター等関係機関と連携し、地域福祉権利擁護事業、高齢者あんしん生活支援事業、成年後見制度等その他必要なサービスの利用に向けた支援を行います。また、いつまでもその人らしく尊厳ある生活を営むため、権利擁護の側面から早期に老い支度への取り組みが図られるよう周知啓発に努めます。

ア 本人・家族等からの相談や実態把握に基づき、成年後見制度等権利擁護支援事業の利用について検討し、必要に応じ関係機関との調整を行います。

イ 元気な高齢者など対象を幅広く設定し、老い支度に関する講習会を実施します。

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務は、高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい暮らしを続けることができるように、地域における関係機関や多職種との連携・協働の体制づくりや介護支援専門員に対する支援等を行います。

(1) 地域における包括的・継続的マネジメント体制の構築

高齢者の心身の状態や生活環境等の変化に応じて、適切な支援やサービスを組み合わせて提供できるように、地域包括支援ネットワークを活用しながら、関係機関と介護支援専門員との連携体制の構築を支援します。

(2) 介護支援専門員への支援

地域の介護支援専門員へ適切な支援やサービスの実施が阻害されないように支援します。

ア 地域の介護支援専門員の日常的業務の実施に関し、専門的な見地から個別指導や相談に応じ、後方支援を行います。

イ 介護支援専門員が抱える困難事例は、必要に応じてケースカンファレンスに同席又は地域包括支援ネットワークを活用して、問題が解決できる環境を作ります。

ウ 地域の介護支援専門員から「地域包括支援センターへの相談シート」を受理した場合は、迅速に対応します。

4 第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援

要支援者及び日常生活支援総合事業対象者に対して、自立支援及び重度化防止に資するための介護予防・日常生活支援を目的として、その心身の状況、その置かれている環境その他の状況に応じて、本人の選択に基づき、適切な事業が包括的かつ効率的に提供されるよう必要な支援を行います。実施に当たっては、高齢者本人が出来ることはできる限り本人が行うことを基本としつつ、本人の出来ることを共に発見し、本人の主体的な活動と生活の質の向上を高めます。

なお、第1号介護予防支援事業（要支援者に係るものに限る）と介護保険法による指定介護予防支援業務については、制度としては、包括的支援事業とは別のものであるが、その実施に当たっては、共通の考え方にに基づき、一体的に行うものとします。

5 在宅医療・介護連携推進事業

高齢者が包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を受け住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるように、医療・介護の連携体制構築に向けた取り組みを進めます。

（1）世話人会への出席

足立区が主催する世話人会への出席を通して医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題の抽出、対応策を検討・実施します。

（2）多職種連携研修会への出席

足立区が主催する多職種連携研修会への出席・協力を通して、医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題の抽出、対応策を検討・実施します。

（3）スキルアップ研修への出席

足立区が主催するスキルアップ研修に出席し、症例への理解を深めることで、医療・介護関係者との相互理解の向上を図ります。

（4）地域の医療・介護関係者との連携強化

地域の医療・介護関係者との合同の事例検討会や講演会、勉強会などについて、開催または参加し、医療・介護関係者との連携を強化します。

6 生活支援体制整備事業（第二層生活支援コーディネーター）

加速する高齢化社会に対応していくためには、特に「自助」「互助」の要素を意識した地域づくりを進めていくことが重要であり、これまで行政主体であった高齢者の生活支援サービスを、「住民主体」へ移行する取り組みが必要です。

（1）地域の支援ニーズと地域資源のマッチング

地域の実情を踏まえて支援ニーズを掘り起こし、その人のニーズに合ったサービスを案内します。

（2）地域資源の把握

地域資源を把握するための調査を実施し、その中で通いの場については調査結果をリスト化します。

把握及びリスト化にあたっては、以下のことに留意します。

ア 把握方法

（ア）住民から地域の通いの場の情報を収集します。

（イ）通いの場の種類・内容に応じて、期間を決めて定期的に最新情報を確認し、区民の方に情報を提供します。

イ リスト化

実施主体や活動目的ごとに分類します。

(3) 地域の担い手の発掘と育成

地域の担い手または担い手となり得る人材を発掘し、その人に合った活躍の場を案内します。

(4) 自主グループ創出への支援

高齢者の健康寿命を延伸するため、通いの場を増やすことは必要不可欠です。足立区では、気軽に通える範囲に、通いの場を創出することを目指し、特に運動・口腔・栄養に関する知識等も学ぶことのできる総合的なプログラムを用いて、地域で介護予防に取り組む自主グループの創出を支援します。

(5) 通いの場への支援

通いの場に対して、企画・運営等の助言を行い、通いの場の継続を支援します。

(6) 絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）の運営

足立区の第二層協議体を「絆のあんしんネットワーク連絡会」と称し、定期的を開催します。

ア 「絆のあんしんネットワーク連絡会」では、参加者の意見を取り入れながら、地域の見守りの他、地域課題の話し合いや地域づくりをすすめます。また、参加者が主体的に取り組めるよう促します。

イ 高齢者の生活支援・介護予防サービス、見守り活動等を推進します。

ウ 地域課題についての情報の共有を図り、課題の解決に向けた具体策を検討します。

エ 必要に応じ、事業者等の関係機関を招集するよう努めます。

(7) 第一層地域支え合い推進員との関わり方

第一層地域支え合い推進員と連携し、以下のことに取り組みます。

ア 住民が主体的・継続的に取り組むサロンや体操教室等の通いの場同士のネットワーク構築を支援します。

イ ブロック内の生活支援コーディネーター同士で定期的に情報交換を行い、通いの場リストの更新、維持管理に努めます。

ウ 元気アップサポーター養成研修修了者からの求めに応じ、本人に合った通いの場を案内します。

7 一般介護予防事業

(1) 一般介護予防事業の推進

足立区における介護予防事業の目指す形は、高齢者が、自身の健康状態、生活状況、価値観に合わせて、介護予防の重要性を認識し、自主的に継続して介護予防に取り組むことです。生活支援体制整備事業と連動し、「住民主体」へ移行する取り組みを進めます。

高齢者がフレイルのサインに早めに気づき、改善できるよう働きかけることが重要です。

ホウカツでは、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく健康で自立した生活を送れるよう、足立区の方針等に基づいて一般介護予防事業に取り組みます。

一般介護予防事業は、介護保険法施行規則（平成11年厚生省令第36号。）によるもので、以下のとおりです。

- ア 介護予防把握事業
- イ 介護予防普及啓発事業
- ウ 地域介護予防活動支援事業
- エ 一般介護予防事業評価事業
- オ 地域リハビリテーション活動支援事業

(2) 一般介護予防事業参加の支援

より多くの高齢者に介護予防への取り組みを推進するため、介護予防チェックリスト等の結果をふまえて、高齢者の心身の状況や生活状況を聞き取り、本人の要望も踏まえながら、「はじめてのフレイル予防教室」「みんなで元気アップ教室」「元気アップサポーター養成研修」等への参加を支援します。

(3) 介護予防教室（出前講座含む）の実施

介護予防の普及啓発のため、必要に応じて開催します。

8 認知症総合支援事業

「認知症施策推進大綱」（令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定）の趣旨を踏まえ、以下の取り組みを実施します。

(1) 認知症の普及啓発・本人発信支援

認知症に対する正しい知識と理解の普及及び認知症予防に対する意識向上のために、足立区と介護事業所等が協力し「認知症サポーター」の養成を推進していきます。特に高齢者の生活に関わりの深い部門や小中高校生等への認知症に対する正しい知識や認知症高齢者の接し方の啓発に努めます。

また、ホウカツが開催する各事業の中でも認知症予防に関する情報提供、本人発信支援を行います。

ア 認知症サポーター養成講座を開催

事務職を除く、すべてのホウカツ職員は、東京都もしくは足立区が実施するキャラバン・メイト養成研修を受講します。また、年間を通じて開催できるように人員体制の整備に努めます。

イ 本人ミーティングまたはピアサポートの実施

認知症の本人同士が語り合い、お互いの体験を共有し、その声を活用して支え合う本人ミーティングまたはピアサポートの支援を行います。

(2) 認知症の早期発見・早期対応

アルツハイマー型認知症は、早い段階からの服薬等の治療や、本人の気持ちに配慮した適切なケアにより、進行をゆるやかにすることが可能といわれています。ホウカツは、認知症の心配を抱えた高齢者や家族の相談に対して、必要に応じてもの忘れ相談につなげます。さらに、足立区、足立区医師会、かかりつけ医、認知症サポート医、認知症疾患医療センター、認知症地域支援推進員、認知症支援コーディネーター、認知症アウトリーチチーム、介護事業所及び関係所管等と十

分に連携して早期発見・早期対応に努めます。

また、ホウカツ職員は認知症高齢者の支援に必要な知識や技術を習得するため、研修を積極的に受講します。

ア もの忘れ相談は、「足立区もの忘れ相談事業実施マニュアル」に基づいて実施します。

イ 認知症検診の結果、検診後支援が必要と判断された人に、「足立区認知症検診後支援実施マニュアル」に基づいて継続支援を実施します。

ウ 事務職を除く、すべての支援センター職員は、東京都が実施する認知症初期集中支援チーム員研修を受講します。また、年間を通じてチーム編成ができるように人員体制の整備に努めます。

エ 認知症アウトリーチチーム事業は、「足立区認知症アウトリーチチーム事業実施マニュアル」に基づいて実施します。

オ 足立区から実態把握対象者への指定、もしくは地域住民等から認知症が疑われる人の情報提供を受けた場合、「足立区実態把握記録票」に基づいて、訪問支援を行います。

(3) 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり

認知症高齢者を地域全体で見守り支援していく体制の整備が必要です。気軽に立ち寄り交流できる認知症カフェ等を定期的に開催することで、認知症高齢者とその家族に対する支援につなげていきます。

ア 認知症カフェは、「認知症カフェ実施マニュアル」に基づいて、実施します。

(4) 若年性認知症の人とその家族に対する支援

若年性認知症は、高齢者の認知症とは異なり働き盛りに発症することから、経済的な負担が大きく、心理的な負担も本人だけでなく、家族に対しても大きいのが特徴です。必要な社会資源や制度の紹介等若年性認知症の方とその家族の方の生活がより良くなるための支援をしていきます。また、ホウカツが若年性認知症の相談窓口であることを広く周知することに努めます。さらに、若年性認知症の人と家族の相談に応じ、必要な制度、サービスの紹介を行います。

9 地域ケア会議推進事業

高齢者等の地域の人びとや介護支援専門員等の専門職の声を地域包括ケアシステムの推進に活かし、地域の実態に合致した地域包括支援ネットワークを構築するための手法の一つとして、地域ケア会議が位置づけられています。

地域ケア会議の構成員は、会議の目的に応じ、行政職員、ホウカツ職員、介護支援専門員、介護サービス事業者、保健医療関係者、民生委員、住民組織等の中から、必要に応じて出席者を調整します。

足立区の地域ケア会議では、地域の個別ケースを取り扱います。

(1) 地域ケア会議の目的

- ア 個別ケースについて地域の支援者を含めた多職種が多角的視点から検討を行うことにより、個別課題の解決を行う。検討のプロセスを通して、自立支援に資するケアマネジメント等の質を高める。
- イ 地域の支援者を含む多職種が協働して行う個別ケースの検討を通じて高齢者の実態把握や課題解決のための地域包括支援ネットワークを構築する。
- ウ 個別ケースの課題分析等を行うことにより、個別ケースの背後に潜在している地域課題を発見する。

(2) 地域ケア会議の体系

ア 個別ケースの検討を行う地域ケア会議

個別ケースの検討を行う地域ケア会議は、各ホウカツが開催し、以下の様な地域の関係者が共通して支援に困難を感じている事例を取り扱います。

- (ア) 介護支援専門員が困難を感じている事例
- (イ) 支援につながっていない事例（支援拒否等への対応）
- (ウ) 地域課題に関する事例
- (エ) 地域の多様な人々による支援が必要な事例

イ あだち人生いきいき会議（自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議）

あだち人生いきいき会議は、主に要介護以外の事業対象者・要支援者の個別ケースを対象とし、高齢者が尊厳を保持しながら、自分らしい生活を主体的に営むことができるよう、多職種が連携し、自立支援、介護予防の観点から検討・助言を行います。

10 寄り添い支援活動事業（絆のあんしんネットワーク）

(1) 孤立ゼロプロジェクトの推進

町会・自治会による高齢者実態調査は、町会・自治会が実施することで地域の絆づくりと顔の見える関係性づくりのきっかけとして、足立区孤立ゼロプロジェクト推進事業の重要な一翼を担っています。足立区では、関係機関と連携して高齢者実態調査を実施し、地域で孤立している高齢者に早期に「気づく」取組みを行っていきます。

ア 高齢者実態調査に基づく各種アセスメントを適切に実施し、対象者の状況を把握し、個別の状況に応じた支援を行います。

イ 対象者を地域でゆるやかに支えあう仕組みをつくるため、地域住民や関係機関と連携し、絆のあんしんネットワークの構築に努めます。

(2) 絆のあんしんネットワークの強化

区民や関係機関に絆のあんしんネットワークについて正しく周知し、絆のあんしん協力員、絆のあんしん協力機関への登録や、地域の気がかりな高齢者の情報提供等、絆のあんしんネットワークへの理解者や活動者を増やしていくことが、地域の目で高齢者を見守る体制に繋がります。

ア 地域の高齢者のとりまく状況について情報収集と分析を行い、絆のあんしんネットワーク関係者や地域住民に周知を図り、地域の見守りへの機運を高めます。

イ ホウカツが実施する実態把握、介護予防教室等の各事業時、地域団体の会合への参加時など、あらゆる機会を活用して絆のあんしんネットワークの周知を行い、絆のあんしん協力員や絆のあんしん協力機関への登録を勧奨します。

ウ 町会・自治会などの地域団体が行う見守り活動等を支援して関係づくりを行い、絆のあんしんネットワーク機能を強化していきます。

エ 支援が必要な高齢者に対して、ホウカツによる定期的な見守りや訪問、絆のあんしん協力員の派遣調整、専門相談協力員の見守りや情報提供依頼などを行い、地域での見守りをコーディネートします。

オ 絆のあんしんネットワーク活動で得られた様々なノウハウを、絆のあんしんネットワーク連絡会などで関係者と共有します。それにより、関係者の活動に対するモチベーションを高めるとともに、各々が次の活動に活かし、それを蓄積していくことで、さらなる絆のあんしんネットワークの推進に繋げていきます。

カ 絆のあんしんネットワーク連絡会を足立区の第二層協議体と位置づけ、「6（6）絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）の運営」の視点を踏まえて開催します。

（3）関係機関との連携強化

ア 絆のあんしん協力員、絆のあんしん協力機関、専門相談協力員、町会・自治会などの関係者と日常的に交流を持ち、活動に関わる相談や助言等を適切に行い、信頼関係を積み重ねていくことで、ホウカツに気軽に相談できる関係づくりを行います。

イ 地域で活動する区民や関係団体との連携を継続して実施し、絆のあんしんネットワークの理念を地域に浸透させることで、地域の情報が早期にホウカツに提供される体制を構築します。

第4 基幹地域包括支援センター

1 基幹地域包括支援センターの役割

(1) 統制機能

基幹地域包括支援センター（以下「基幹ハウカツ」という。）は、25か所のハウカツの基本機能が十分に発揮され、業務全般にわたり円滑に実施されるよう、足立区の関係所管及びハウカツ間の連携を進め、担当圏域を超えたネットワーク形成に努めます。そのために、足立区の施策や介護保険制度等に関する情報共有化、ハウカツ業務の課題と方向性についての共通理解を図ります。また、各業務に関わる課題を把握・分析して、事業効果を高めるために検討を行い、足立区への事業提案及びマニュアルの整備、見直しを行います。

ア ブロック会議、絆のあんしん検討会へ出席します。

イ 地域ケア会議の運営支援を行います。

ウ 認知症地域支援推進員会議の運営支援を行う。

(2) 関係機関との調整機能

基幹ハウカツは、高齢者の総合相談窓口として第一線の現場で業務を行うハウカツを代表し、行政機関のみならず関係機関の代表で構成された組織体とも密接に連携していきます。主に、以下の各種協議会、委員会、審査会に出席し情報交換や協議に加わるとともに、必要に応じ各ハウカツ及び居宅介護事業者等に対し情報提供を行います。

ア 地域包括支援センター運営協議会

イ 特別養護老人ホーム入所検討委員会

ウ 虐待防止ネットワーク運営委員会

エ 困難事例検討会・成年後見審判足立区長申立て等審査会

オ 成年後見制度審査会・成年後見制度推進連絡会

カ 介護サービス事業者連絡協議会

キ その他、高齢者福祉に関する課題を検討するために設置された会議

(3) 介護支援専門員への後方支援

地域の介護支援専門員が包括的・継続的なケアマネジメントを実践できるよう地域基盤を整えるため、介護支援専門員のスキルアップや専門職同士の横のつながりを促進します。また、支援困難事例への支援を行い、深刻な事態に陥ることを防止します。

ア 足立区主任介護支援専門員連絡会、居宅介護支援部会、あだちケアマネ研究会の活動支援を行います。

イ 地域の介護支援専門員から「地域包括支援センターへの相談シート」を受理した場合は、月末に相談経過を確認し、相談内容の集計・分析を行います。

(4) ホウカツへの支援

高齢者の増加、血縁・地縁の希薄化、景気の低迷などを背景に、高齢者や家族が抱える問題がより複雑化、深刻化しています。基幹ホウカツは、各ホウカツ単独では解決が難しい支援困難事例の相談に応じます。足立区、関係機関、認知症地域支援推進員、介護事業者等と連携して、ホウカツが事例の課題と支援の方向性を整理し、適切な対応ができるよう支援します。また、ホウカツ職員の資質向上を図るため、研修会を開催し支援していきます。

ア 各ホウカツの相談内容に応じ、助言、関係機関との調整、ケアカンファレンス参加、訪問への同行などを行い支援します。

イ 虐待事例については「養護者による高齢者虐待対応マニュアル」に基づき適切に支援します。

ウ 足立区と調整のうえ、ホウカツのスキルアップに資する実践的な研修会を企画し、年間を通して計画的に実施します。

2 生活支援体制整備事業（第一層生活支援コーディネーター）

第一層地域支え合い推進員（第一層生活支援コーディネーター）は、足立区の生活支援・介護予防サービスの基盤整備に向け、地域資源の把握、通いの場や活躍の場の確保、地域に不足するサービスの開発、関係機関との連携等を通じたネットワークの構築および生活支援の担い手の養成等を推進します。

- ① 足立区主催の会議、ホウカツ主催の会議等に参加し、関係機関との情報共有、情報収集を行います。
- ② 地域支援事業の推進に向けたホウカツ職員のスキルアップのための支援を行います。
- ③ 地域支援事業を円滑に実施するために、地域毎の情報の収集、担い手の育成に必要なサービスの創出を支援します。
- ④ 一層二層連絡会では、各ホウカツの地域課題を各ブロック毎に共有し、内容に応じて第一層協議体（はつらつ高齢者部会）及び地域包括ケアシステム推進会議、その他推進部会のいずれかへ取り組み内容や地域課題等を提起し、足立区と連携をとりながらすすめます。

(1) 第二層生活支援コーディネーターとの連携

第二層生活支援コーディネーターと連携し、以下のことに取り組みます。

ア 住民が主体的・継続的に取り組むサロンや体操教室等の通いの場同士のネットワーク構築を支援します。

イ ブロック内の生活支援コーディネーター同士で定期的に情報交換を行い、通いの場リストの更新、維持管理に努めます。

ウ 特定の通いの場に参加していない介護予防サポーター修了者からの求めに応じ、本人に合った通いの場を案内します。

第5 その他

1 事業計画書の作成

ハウカツは、業務委託仕様書及び運営方針に基づき、地域の特性等を加えた業務全般について、具体的に作成します。

また、当業務委託を引き続き実施しているハウカツは、前年度実績やハウカツの事業評価の結果を踏まえ作成します。

2 報告書の作成

ハウカツは、業務委託仕様書及び運営方針、実施マニュアル等に基づき、足立区が必要とする書類を作成します。

(1) 月次

ア 月報

(2) 年次

ア 事業評価に関する書類

イ 委託事業事務処理マニュアルに基づく書類

(3) 実施した場合のみ

ア 家族介護者教室活動報告書

イ 地域ケアネットワーク事業実施報告書

ウ 出張相談窓口活動報告書

エ 在宅医療・介護連携推進事業取り組み状況報告書

オ 地域ケア会議開催報告書

カ もの忘れ相談記録票の写し・予約簿兼実施簿の写し

キ 認知症カフェ実施報告書

ク 認知症サポーター養成講座実施計画書

ケ 認知症初期集中支援チーム報告書

コ 認知症アウトリーチチーム訪問台帳

サ 認知症の理解促進に関する住民への普及啓発事業実施計画書・報告書

シ 本人ミーティング・ピアサポート事業実施計画書・報告書

ス 絆のあんしんネットワーク連絡会（二層協議体）実施報告書

セ 絆のあんしんネットワーク活動報告書

ソ 自主グループ活動状況報告書

タ 機関紙（発行した月のみ）

3 事業に係る経理処理

ハウカツは、委託費の対象となる経費を明確に区別し、特別会計で処理します。経理処理は、「委託事業事務処理マニュアル」に基づいて、実施します。

4 介護保険外サービスの取次

ハウカツは、介護保険外サービスの提供に当たり、利用者やその家族に対し、適正な制度活用に努めます。

5 個人情報保護

ホウカツは、高齢者の心身及び家庭の状況を幅広く知りうる立場にあるため、情報管理には万全を期す必要があります。介護保険法、足立区地域包括支援センター事業実施要綱、その他法令に基づく守秘義務を遵守します。また、足立区との契約条項に示された個人情報、特定個人情報（マイナンバー）の取り扱いに関する事項に留意し、電子データ、紙媒体、その他保有するいかなる個人情報、特定個人情報（マイナンバー）についても、漏洩、盗難、紛失、破損がないよう必要な対策を講じます。

6 災害発生時の対応

ホウカツは、平成23年10月作成の「地域包括支援センター災害時・緊急対応マニュアル（案）」に準じた災害発生時のマニュアルを整備し、災害発生時に円滑に行動ができるよう、日頃から職員間での共通認識を図っていきます。

また、状況が落ち着いた後、ホウカツ利用者一覧表を基に、一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯を優先して安否確認を行います。なお、原則としてホウカツは、定められた時間で窓口を開設します。

（1）第一段階

ホウカツ利用者・職員の安全確保・火の始末・出口確認

（2）第二段階

利用者の避難誘導・職員の安否確認・施設の安全確認・危険箇所の立ち入り禁止措置・近隣住宅の火災や倒壊の有無確認・足立区及び基幹ホウカツへの状況報告

（3）第三段階

優先順位に基づいた高齢者の安否確認

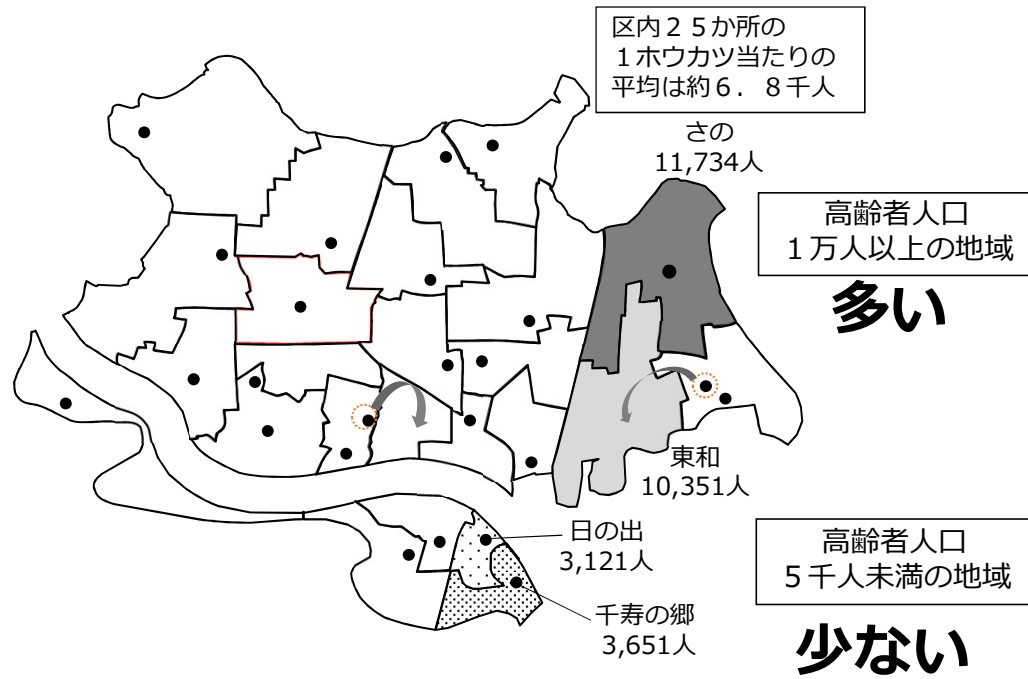
7 事故等における報告の流れ

ホウカツは、何らかの事故等が発生した場合は、足立区における「30分ルール」に基づき、迅速な報告を徹底します。

ハウカツの問題は2つ「高齢者人口の平準化」と「ハウカツの設置場所」

最大で約4倍の差!!

プロポーザルの度に場所が代わる。条件に合う物件がない!!

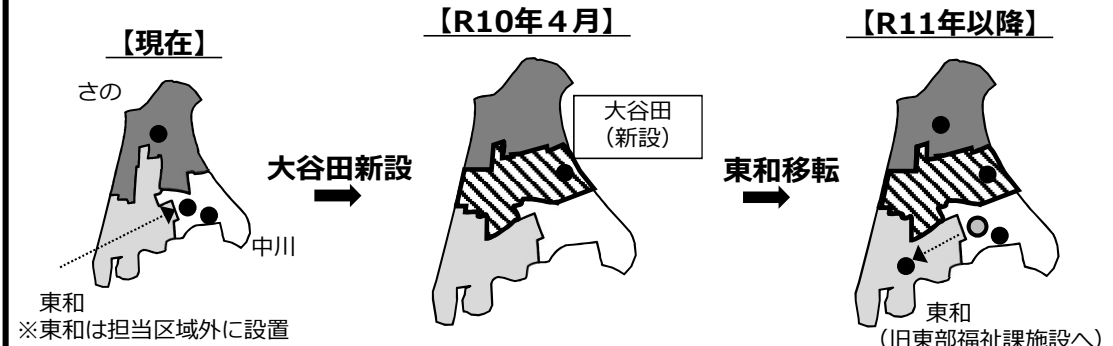


東部地区を「分割」

ハウカツを区有施設に新設し、担当区域を変更（3か所 → 4か所）

■大規模（1万人以上）のハウカツが、東部地区に2か所ある。

- ・さの 11,734人 → 13,681人（2034年）
- ・東和 10,351人 → 13,873人（"）

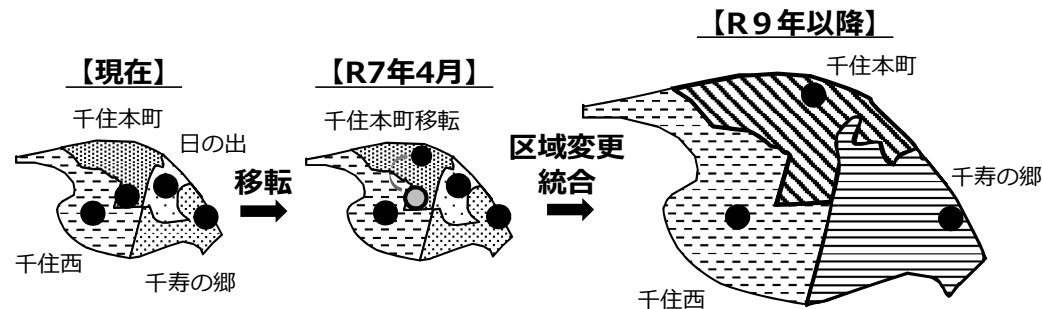


千住地区を「統合」

小規模のハウカツを統合し、区有施設に移転（4か所 → 3か所）

■小規模（5千人未満）のハウカツが千住地区に2か所ある。

- ・日の出 3,121人 → 3,293人（2034年）
- ・千寿の郷 3,651人 → 4,389人（"）

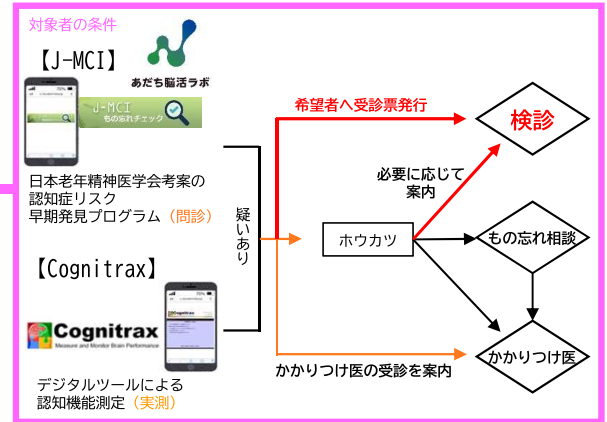
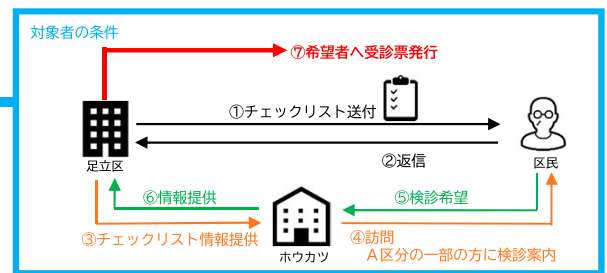
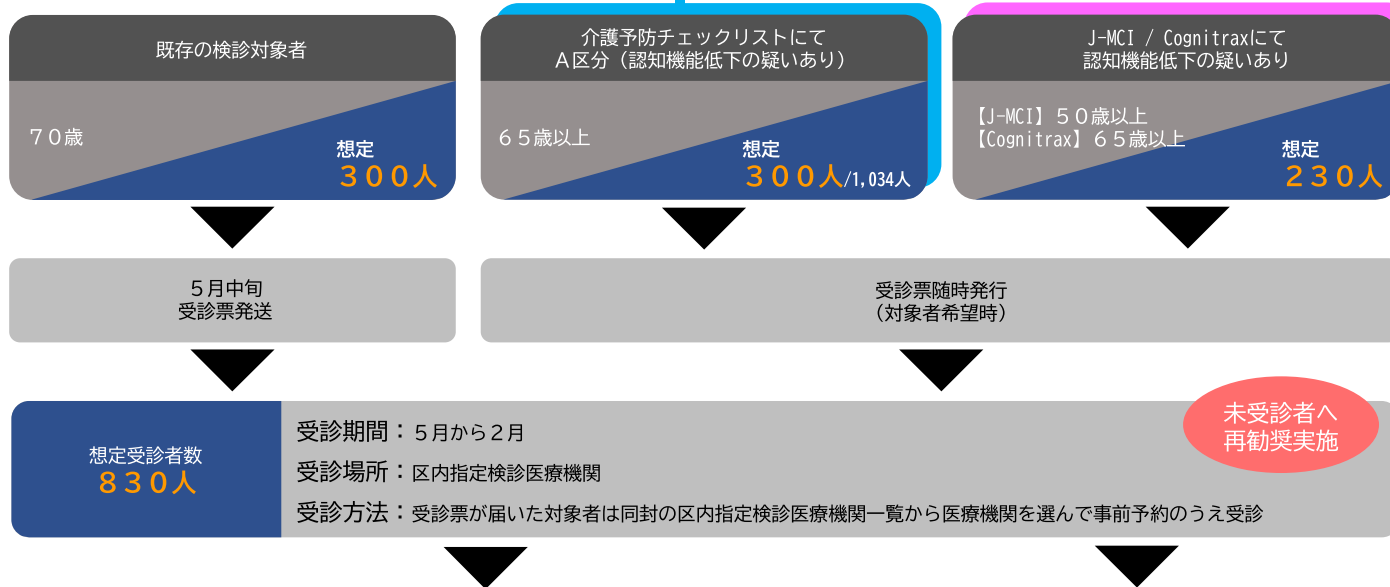


区域を変更し区有施設に移転

	名称	高齢者人口		名称	高齢者人口 (区域変更後)		移転・新設案	
		2024年	2034年		2024年	2034年	場所	年度
千住	日の出	3,121人	3,293人					
	千寿の郷	3,651人	4,389人	千寿の郷	5,674人	6,538人	-	-
	千住本町	5,694人	6,251人	千住本町	6,792人	7,396人	学びピア	R7
	千住西	6,149人	6,951人	千住西	6,149人	6,951人	-	-
東部	西綾瀬	4,597人	5,533人	西綾瀬	4,597人	5,533人	-	-
	中川	7,801人	8,029人	中川	7,616人	9,259人	-	-
	東和	10,351人	13,873人	東綾瀬	6,895人	9,103人	東部福祉課	R11以降
	さの	11,734人	13,681人	さの	7,744人	8,702人	-	-
				大谷田	7,631人	9,582人	大谷田区営住宅	R10

出典：足立区人口推計 令和6年2月（中位推計）

【あだちオレンジチェック（認知症検診） 受診フロー】



あだちオレンジサポート（検診後支援）

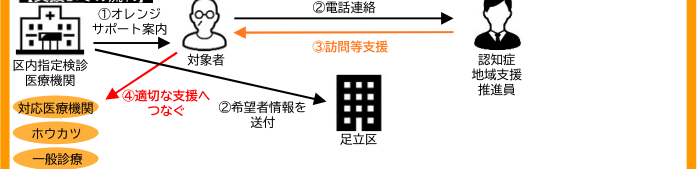
対象：区内指定医療機関を受診した結果、「疑いあり」と診断された方のうち支援を希望した方と医師が必要と認める方

内容：認知症地域支援推進員による訪問・電話相談等支援

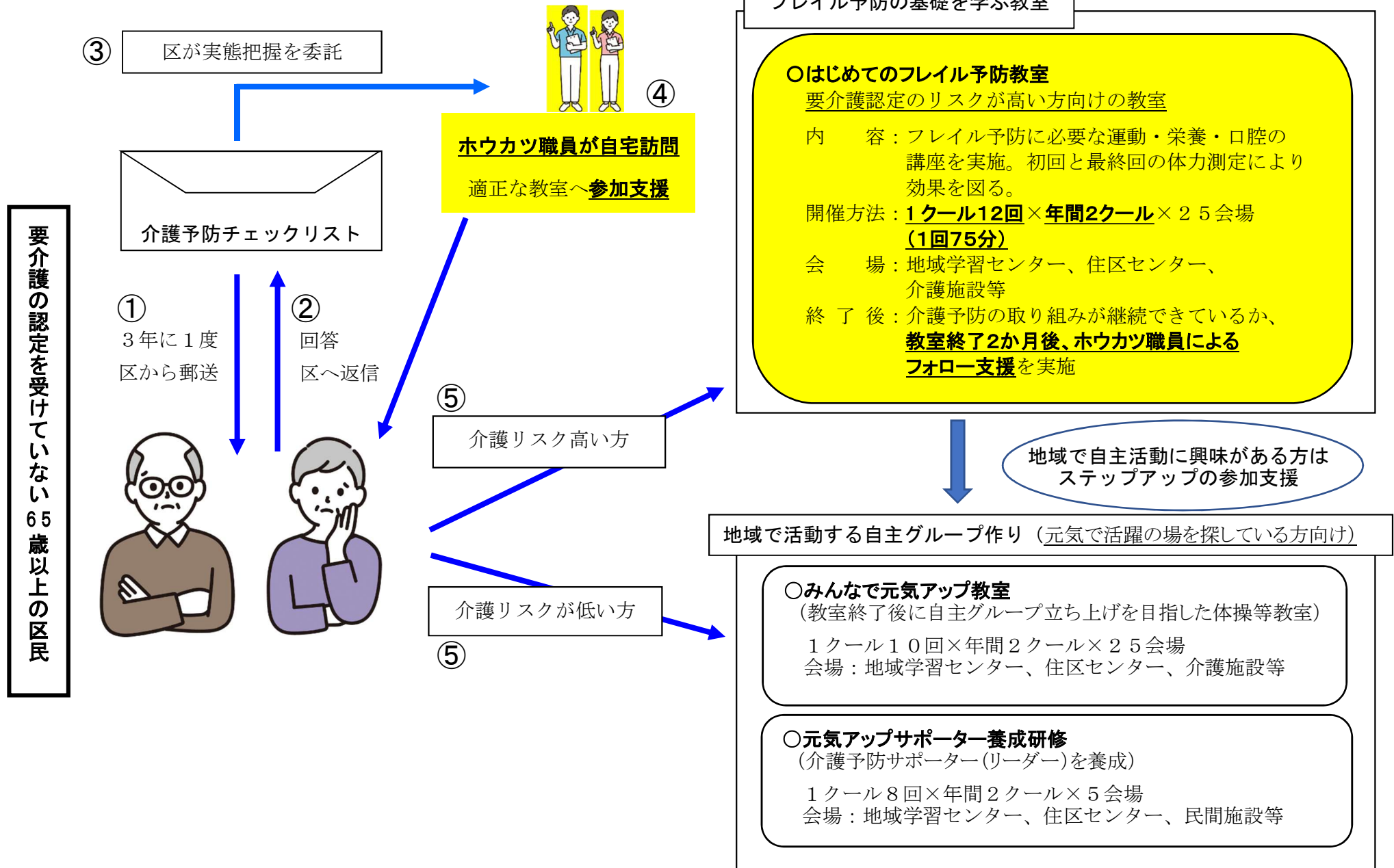
サポート内容

- ・ 不安の傾聴、本人家族への情報提供を行う
- ・ 区内指定認知症対応医療機関、ホウカツ、介護保険申請等適切な支援へつなぐ
- ※ 上記支援が不要の場合
必要に応じて日頃の介護予防・認知症予防活動として「あだち脳活ラボ」を案内
65歳未満の方には毎年のJ-MCI実施を勧める

【支援までの流れ】



ホウカツへ参加支援を委託している介護予防事業



令和7年4月スタート

はつらつ測定会

予約不要

あだち脳活ラボを使った体力と認知機能のW測定会！

※あだち脳活ラボを登録していない方でも体力測定はできます！

区内の全地域
学習センター
で開催！

LINEで

65歳以上におすすめ！

介護予防・認知症予防を
楽しくサポートします。

あだち脳活ラボ

場所（地域学習センター）	日程	時間	場所（地域学習センター）	日程	時間
伊 興 ☎3857-6537	第2木曜日	9:30～11:30	竹の塚 ☎3850-3107	第2金曜日	15:45～17:45
梅 田 ☎3880-5322	第4月曜日	9:30～11:30	中央本町 ☎3852-1431	第3月曜日	12:45～14:45
興 本 ☎3889-0370	第3火曜日	9:30～11:30	東 和 ☎3628-6201	第3水曜日	12:45～14:45
江 北 ☎3890-4522	第3木曜日	9:30～11:30	舎 人 ☎3857-0008	第2月曜日	12:45～14:45
佐 野 ☎3628-3273	第1水曜日	9:30～11:30	花 畑 ☎3850-2618	第2金曜日	9:30～11:30
鹿 浜 ☎3857-6551	第1木曜日	9:30～11:30	保 塚 ☎3858-1502	第4木曜日	9:30～11:30
新 田 ☎3912-3931	第1金曜日	9:30～11:30	生涯学習 センター (学びピア21内) ☎5813-3730	第1金曜日	14:30～16:30

※都合により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あだち脳活ラボ
登録サポート会

要予約

登録をお手伝いします

「あだち脳活ラボ」の始め方や使い方がわからない方、対面でスマホ操作のサポートをします。



スマホグッズをプレゼント

※画像は一例です。

あだち脳活ラボ
スマホよろず相談

要予約

お困りごとを解決します

「あだち脳活ラボ」に関連したスマホの使い方についてわからないことがあれば、なんでもお聞きください！一対一で専門員が相談に乗ります！

お問い合わせ
※令和7年4月から受付



0120-988-252

専用コールセンター（平日 午前10時～午後5時）

日程など
詳しくはこちらを
ご覧ください



担当課

高齢者地域包括ケア推進課

お問い合わせ

お問い合わせコールあだち
（毎日午前8時～午後8時）

電話番号

03-3880-0039



2025年
スタート！

手軽に楽しく「はつらつ」と

無料

※通信費除く

登録は簡単3ステップ！/
友だち追加はこちら



いつでも、どこでも、誰とでも、お一人でも、何回でも

人生を
より豊かに!
あなたのはつらつとした
毎日を応援!

あだち脳活ラボの 4つのポイント

1



体操教室などの
イベントが
検索できる!



みんなで
元気アップ教室

参加者同士で交流を深め、
フレイル予防に取り組める
グループ作りをお手伝い!



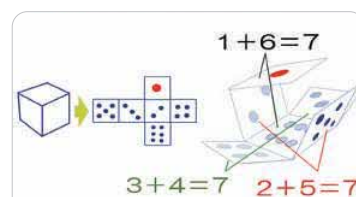
はつらつ教室

「運動・栄養・口腔ケア」が一度に学べる
総合講座!

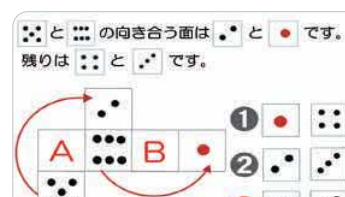
2



1,000を超える
脳トレ問題!



サイコロは向かい合う面の数字を足すと必ず7になります。



答えは③です。向かい合う面が合計7になればいいですね。

お友だちとも
楽しめる

4



13の質問に
答えるだけで
認知症リスクを
三段階で判定!



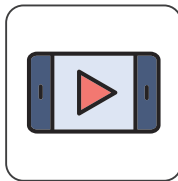
Q: ものの名前が出てこない

〈はい〉〈いいえ〉

※65歳未満の方もご利用いただけます

自治体
本格導入
全国初

3



運動・美術・音楽など
400以上の動画!



お友だちとも
楽しめる



かんたん3ステップ! 登録方法

1

LINEから
「友だち」追加

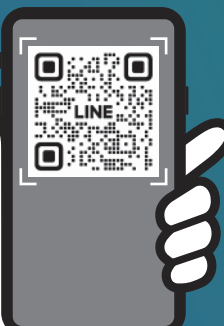
2

届いたメッセージ
をタッチ

3

プロフィールを
入力して登録完了

登録方法を
動画で解説



お友だち追加ありがとうございます
お友だち追加ありがとうございます。「あだち脳活ラボ」を開始するにあたってまずはプロフィールの入力をお願いします。

プロフィールを入力する

生年月日と性別の入力

生年月日 ※必須
昭和29(1954) 年 1 月 1 日

性別 ※必須
男性 女性 その他



さらに

マイページ

自分の活動履歴が確認
できるため、目標を
立てて楽しく活動できる!

通知

イベントに関する
お知らせが届くので、
積極的に参加できて楽しい!

ポイントが貯まる

景品がもらえるチャンス!
Coming Soon!



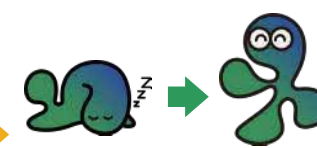
2 社会交流

- 競争心の効果
- 必要とされる効果
- 褒め合う効果

共感と思いやりで
脳細胞を活性化

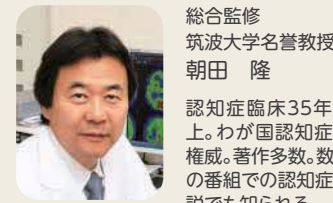


脳活性化



眠っている細胞を
呼び覚ます

ささえる



総合監修
筑波大学名誉教授
朝田 隆
認知症臨床35年以上。
わが国認知症の
権威。著作多数。数々
の番組での認知症解
説でも知られる。

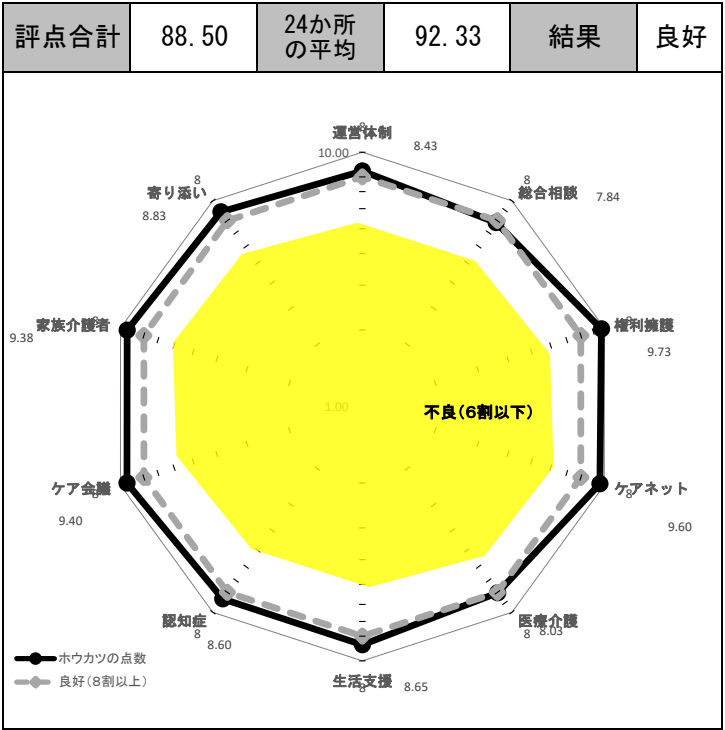
様々な取組で
脳を活性化させよう!

脳の健康には普段やらない
事をいくつも実施して新しい
刺激を与える事が一番!
「あだち脳活ラボ」には運動、
脳トレ、音楽、芸術等普段は
やらないプログラムが満載!
あなたのスマホでいつでも
どこでもいろんな事に挑戦
し脳の健康を保ちましょう!

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 足立区社会福祉協議会
ホウカツ名	足立区基幹地域包括支援センター

担当地域	梅島、中央本町1、島根
------	-------------



【評価委員の講評】

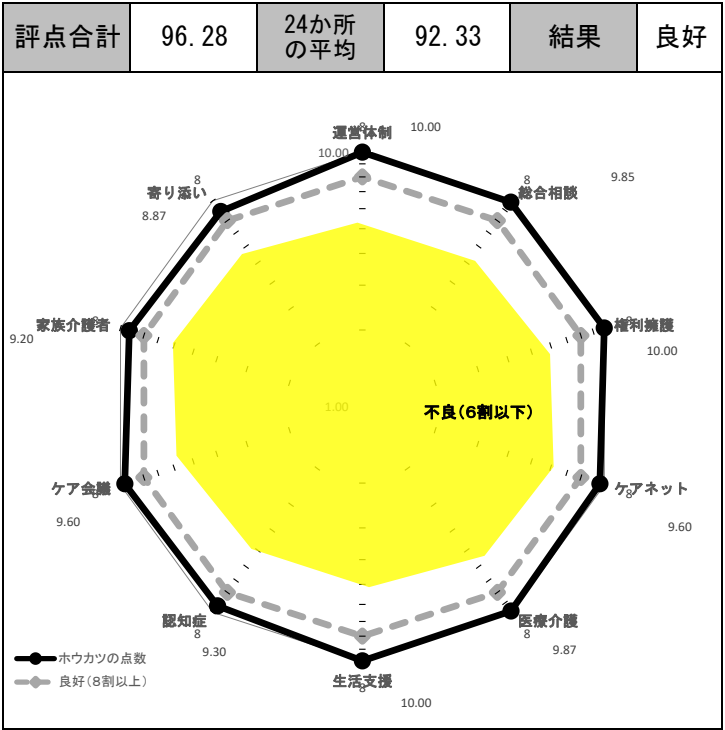
- 維持してほしいこと
 ①運営体制では、職員同士の支え合いやOJTの成果が実り、安定した体制を継続できている点が高評価です。
 ②内外の様々な会議や検討会の開催により、職員のスキルアップのみならず負担軽減も考慮した取り組みが素晴らしいです。
 ③自主グループ活動について、前向きな方の育成から創出までを丁寧に繋げていることで継続しやすくなっているため、引き続き取り組んでいただきたいです。
- 課題
 ①担当地域内のマンション管理組合等との関係構築では、集会への参加や関係者との面談等、顔の見える関係性を心掛けることにより、更に訪問や支援体制が整うのではないかと思います。
- 挑戦してほしいこと
 ①歯科や薬局等との関係づくりから、ネットワークを強化するとともに、区で展開している行政補助事業を周知・紹介していただきたいです。
 ②認知症の方の社会参画に寄与するため、外部機関も含めて講義や活動をすることで、当事者の参加意欲を向上させていくことが望ましいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	8.69	9.26	▲0.57	8.43	9.33	▲0.89	▲0.26
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	7.52	8.78	▲1.26	7.84	9.06	▲1.22	0.32
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	9.73	9.83	▲0.09	▲0.27
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.60	9.15	0.45	9.60	9.46	0.14	0.00
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	10.00	8.64	1.36	8.03	8.84	▲0.81	▲1.97
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	8.25	8.96	▲0.71	8.65	9.43	▲0.78	0.40
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.20	8.53	▲0.33	8.60	8.90	▲0.30	0.40
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワ ークの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.60	9.45	0.15	9.40	9.27	0.13	▲0.20
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	7.70	9.05	▲1.35	9.38	9.22	0.17	1.68
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	8.28	8.87	▲0.59	8.83	8.99	▲0.16	0.55
合計			87.84	90.54	▲2.70	88.50	92.33	▲3.83	0.66

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	足立福祉サービス株式会社
ハウカツ名	足立区地域包括支援センター あだち

担当地域	足立、中央本町2、梅田1
------	--------------



【評価委員の講評】

■ 維持してほしいこと
①運営体制において、バランスの取れた体制や早期の人材確保は素晴らしい努力です。特に、実習生の受け入れなど、若年層の募集に尽力している点や職員自ら考え、行動させることを促す育成方針に重きを置いている点など、持続可能な運営体制づくりへの意欲が垣間見え、大変素晴らしいと感じます。
②関係づくりや周知活動について、積極的に地域活動に参加する姿勢が素晴らしいです。また、広報物は読みやすく、理解しやすい内容となっている点や手渡しでの周知もされている点は、今後も継続していただきたいです。
③今後も丁寧な育成とチームサポートを継続するべく、OJTや若年層の職員募集、年間行事計画書の作成を維持していただきたいです。

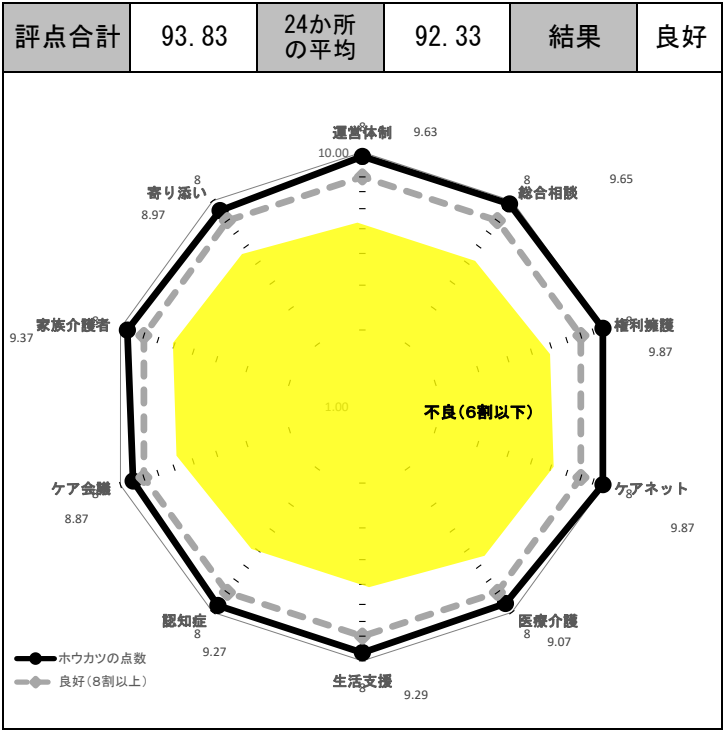
■ 挑戦してほしいこと
①認知症サポーター養成講座について、参加者の身の回りや自身の今後に備えるために、企業等にも協力を仰ぎ、多世代に対して認知症の普及活動を行ってほしいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.99	9.26	0.73	10.00	9.33	0.67	0.01
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	9.37	8.78	0.59	9.85	9.06	0.79	0.48
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	10.00	9.83	0.17	0.00
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.60	9.15	0.45	9.60	9.46	0.14	0.00
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	10.00	8.64	1.36	9.87	8.84	1.02	▲0.13
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.70	8.96	0.74	10.00	9.43	0.57	0.30
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	9.10	8.53	0.57	9.30	8.90	0.40	0.20
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.80	9.45	0.35	9.60	9.27	0.33	▲0.20
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.50	9.05	0.45	9.20	9.22	▲0.02	▲0.30
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	8.90	8.87	0.03	8.87	8.99	▲0.13	▲0.03
合計			95.96	90.54	5.42	96.28	92.33	3.95	0.32

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 ウェルガーデン
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 伊興

担当地域	伊興、東伊興、伊興本町、西伊興、西竹の塚
------	----------------------



【評価委員の講評】

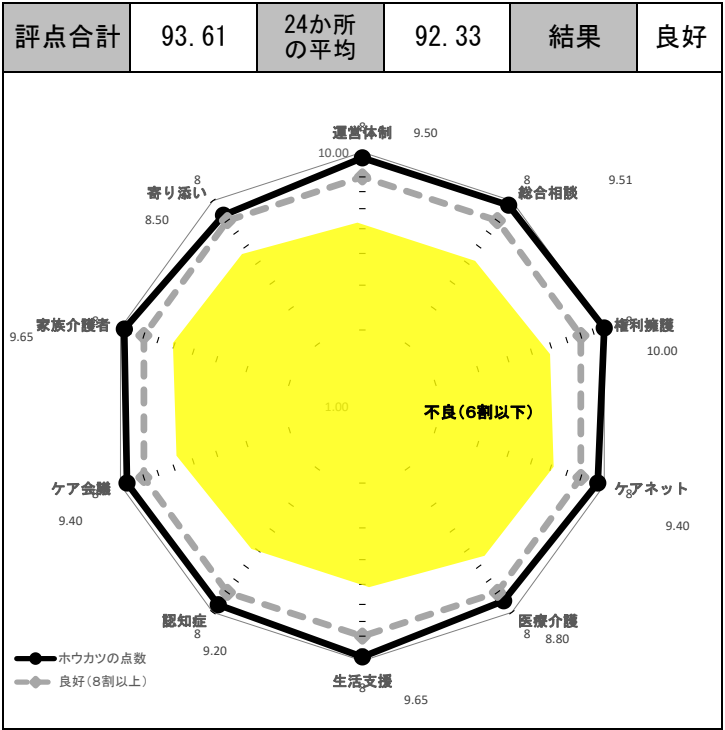
- 維持してほしいこと
 ①運営体制は、過去2年間退職が出ず、非常に安定しています。職員のレベルアップにも力を入れており、今後も維持してほしいです。
 ②地域との関係づくりは、イベント等に積極的に参加し、ホウカツの認知度向上を図りつつ、全職員で関わることができています。
 ③地域とのネットワーク構築に向け、新しい方法を積極的に取り入れている点が素晴らしいです。相談を受ける住民の視点に立った細やかな気配りは、ぜひ続けていただきたいです。
 ④多忙にも関わらず、風通しのよい職場環境が構築できています。こうした雰囲気を持続して、職員全員で地域に貢献していただきたいです。
- 挑戦してほしいこと
 ①地域ケア会議は、課題の解決や次の展開へ持って行けるように期待しています。
 ②認知症の早期発見には、家族の協力が不可欠です。家族とのつながりを深め、理解を得ることに尽力いただきたいです。
 ③家族介護者教室は、交流の場として重要な場なので、少しでも新しい参加者が増えるように、周知方法を工夫していただけると良いと思います。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.97	9.26	0.71	9.63	9.33	0.30	▲0.34
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	9.29	8.78	0.51	9.65	9.06	0.59	0.36
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	9.87	9.83	0.04	▲0.13
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.40	9.15	0.25	9.87	9.46	0.41	0.47
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	9.60	8.64	0.96	9.07	8.84	0.22	▲0.53
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.45	8.96	0.49	9.29	9.43	▲0.14	▲0.16
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.90	8.53	0.37	9.27	8.90	0.36	0.37
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワ ークの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.60	9.45	0.15	8.87	9.27	▲0.41	▲0.73
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.50	9.05	0.45	9.37	9.22	0.15	▲0.13
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	8.88	8.87	0.01	8.97	8.99	▲0.03	0.08
合計			94.59	90.54	4.05	93.83	92.33	1.50	▲0.76

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 長寿村
ハウカツ名	足立区地域包括支援センター 入谷

担当地域	入谷、舎人、古千谷、古千谷本町
------	-----------------



【評価委員の講評】

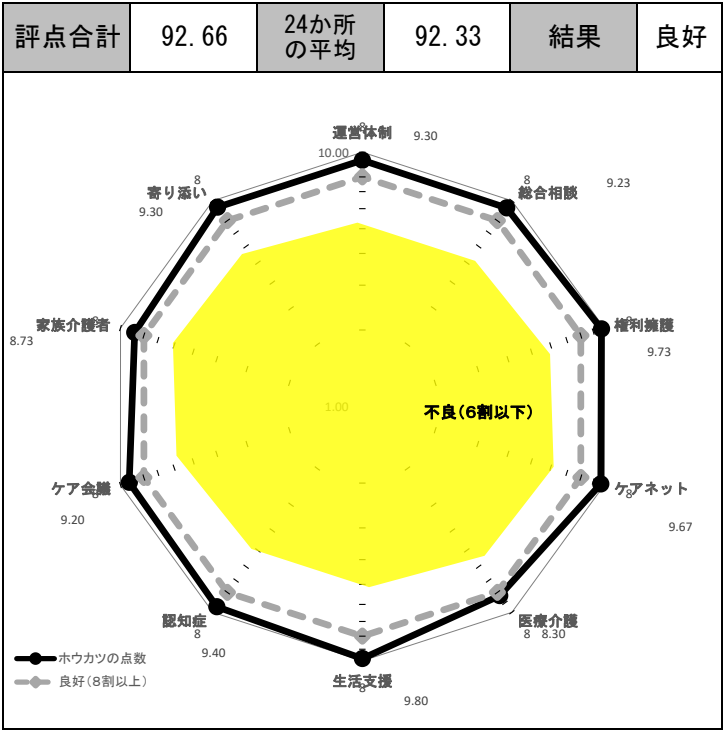
- 維持してほしいこと
①研修の実施で終わりにせず、良いものは共有という視点から、動画作成・共有することは、非常に良い取り組みだと思います。
②若年層への認知症理解促進の取り組みは、とても大切だと思いますので、小中学校との連携は継続して欲しいです。
③少人数ながらも専門職を複数配置し、困難事例も2名体制で対応するなど、チームワークを活かした取り組みが素晴らしいです。職員間の意見共有や支え合いが強みであり、安定した運営が維持できています。今後は複数配置のバランスが崩れた部分に対してフォローを行いながら、体制整備を行うこととなりますが、安定した運営が継続できるように取り組んでください。
④2名体制での対応、毎朝の引継ぎや個人面談を通じた情報共有など、丁寧で確実な業務体制が高い評価に繋がっています。
- 課題
①人材確保が課題です。法人と連携し、職員の補充がなされることを期待します。
- 挑戦してほしいこと
①看護実習生の受け入れ等を糸口に、若い世代の採用を実現して欲しいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.98	9.26	0.72	9.50	9.33	0.17	▲0.48
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	9.66	8.78	0.88	9.51	9.06	0.45	▲0.15
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	9.87	9.86	0.01	10.00	9.83	0.17	0.13
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.20	9.15	0.05	9.40	9.46	▲0.06	0.20
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	9.20	8.64	0.56	8.80	8.84	▲0.04	▲0.40
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.45	8.96	0.49	9.65	9.43	0.22	0.20
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	9.30	8.53	0.77	9.20	8.90	0.30	▲0.10
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.60	9.45	0.15	9.40	9.27	0.13	▲0.20
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.60	9.05	0.55	9.65	9.22	0.43	0.05
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	8.62	8.87	▲0.25	8.50	8.99	▲0.49	▲0.12
合計			94.47	90.54	3.93	93.61	92.33	1.28	▲0.86

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 聖風会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 扇

担当地域	扇、興野、本木東町、本木西町、本木南町、本木北町
------	--------------------------



【評価委員の講評】

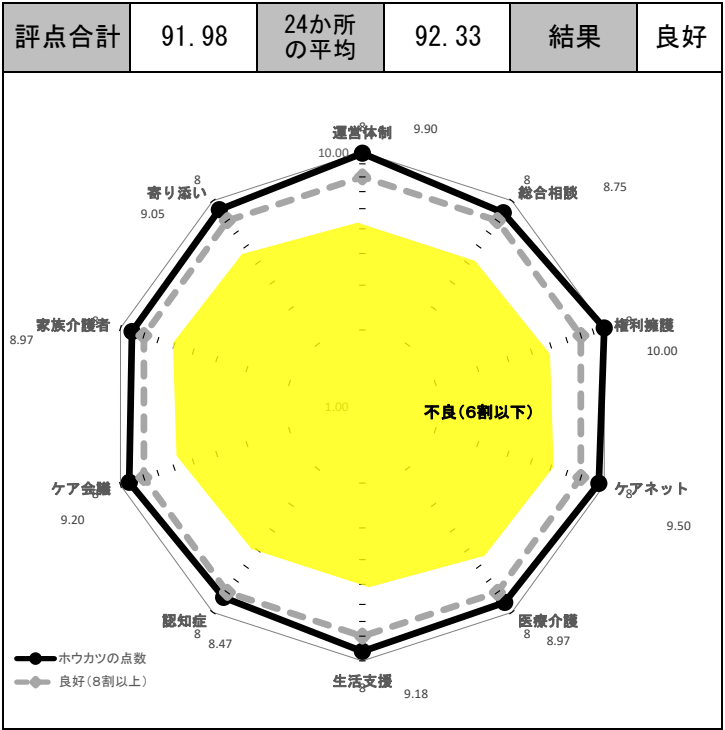
- 維持してほしいこと
①多様で複雑な業務に挑戦し、法人とも連携して職員確保を続ける姿勢は素晴らしいです。指導体制と協力のもと、安定した職員配置に向けた努力を高く評価します。今後も引き続き、体制が安定するように取り組んでください。
②後継者育成において、同行訪問や多様な研修参加を通じて職員のスキル向上に尽力し、質の高い支援を維持しようとする努力は大変心強く、今後の成長が期待されます。
③実態把握の訪問後、会えない方にはアンケートを送るなど、少しでも職員の負担が減るための工夫は、継続してほしいです。
- 課題
①家族介護者教室の開催について、アンケートを取っているが、参加者が安定しないと聞いた。他のホウカツは、開催日を固定して参加者の安定を図り、日ごろの介護の悩みや不安を解消する場としている。場所の確保の都合があると思うが、参加者ファーストで取り組んでほしいです。
- 挑戦してほしいこと
①担当地域の小学校（残り2校）と中学校で、認知症サポーター養成講座を開催してほしいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	8.45	9.26	▲0.81	9.30	9.33	▲0.03	0.85
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	8.96	8.78	0.18	9.23	9.06	0.17	0.27
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	9.73	9.83	▲0.09	▲0.27
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.00	9.15	▲0.15	9.67	9.46	0.21	0.67
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	8.17	8.64	▲0.47	8.30	8.84	▲0.54	0.13
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	8.50	8.96	▲0.46	9.80	9.43	0.37	1.30
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	6.80	8.53	▲1.73	9.40	8.90	0.50	2.60
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.20	9.45	▲0.25	9.20	9.27	▲0.07	0.00
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.50	9.05	0.45	8.73	9.22	▲0.48	▲0.77
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	9.60	8.87	0.73	9.30	8.99	0.31	▲0.30
合計			88.18	90.54	▲2.37	92.66	92.33	0.33	4.48

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 ファミリー
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 江北

担当地域	江北、堀之内
------	--------



【評価委員の講評】

■ 維持してほしいこと

- ①認知症の本人ミーティングで「もしばなゲーム」（カード）を活用して大変盛り上がったとの話ですが、他ホウカツにもぜひ情報共有をしていただきたいと思います。
- ②三職種を複数配置した事は、非常に評価できる。今後も、安定した運営体制が維持できるように、法人からの協力体制を維持してほしいです。
- ③新任者には育成担当を設け、期間を3か月と決めています、理解度に応じて丁寧に対応している点は高く評価できます。
- ④みんなで元気アップ教室に、規定の回数を大きく超える9回出席しており、自主グループの創出に力を注いでいます。また、自主グループの活動で、ホウカツの機関紙を作成するアイデアは大変面白いと思います。

■ 課題

- ①通いの場で、立ち上がった団体の継続で苦労されています。どのように支援するか、仕組みづくりの検討に注力してほしいです。

■ 挑戦してほしいこと

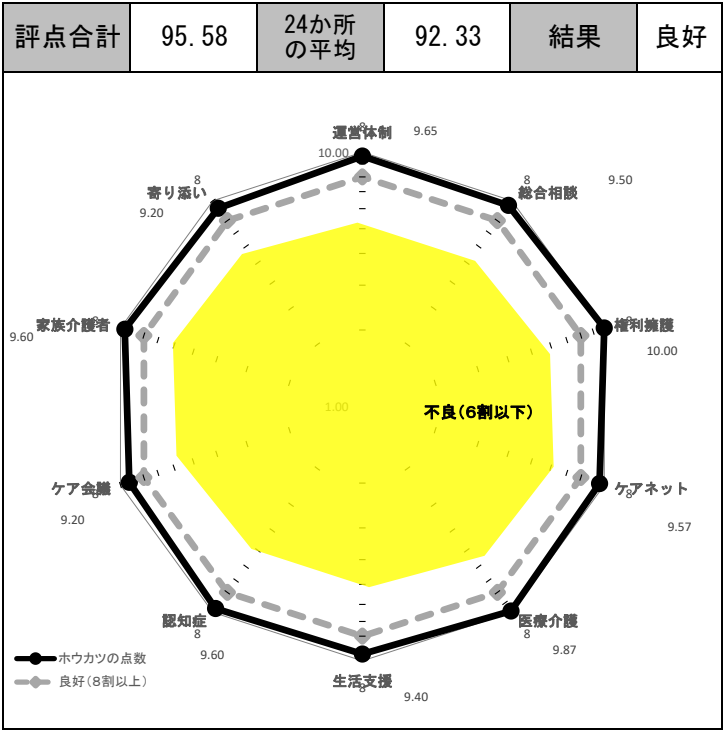
- ①担当地域の小学校（1校）と連携し、認知症の普及啓発と地域のネットワーク構築に挑戦してほしいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・ 履行期間中の運営体制に関する事 ・ 3職種の配置状況に関する事 ・ 職員の人材確保及び育成に関する事 ・ その他体制に関する事	10.00	9.26	0.74	9.90	9.33	0.57	▲0.10
2	総合相談支援	・ 総合相談、実態把握に関する事 ・ 地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・ 出張相談窓口に関する事 ・ その他業務に関わる事	8.20	8.78	▲0.58	8.75	9.06	▲0.31	0.55
3	権利擁護	・ 高齢者虐待の対応に関する事 ・ 関係機関との連携に関する事 ・ その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	10.00	9.83	0.17	0.00
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・ 地域ケアネットワークの開催に関する事 ・ 介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・ その他業務に関わる事	9.40	9.15	0.25	9.50	9.46	0.04	0.10
5	医療・介護連携推進	・ 多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・ 研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・ 医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	8.27	8.64	▲0.37	8.97	8.84	0.12	0.70
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・ 資源リストに関する事 ・ 絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・ 自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	8.65	8.96	▲0.31	9.18	9.43	▲0.25	0.53
7	認知症施策関連	・ 認知症サポーター養成講座に関する事 ・ 認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・ 本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・ 早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・ その他事業に関する事	8.40	8.53	▲0.13	8.47	8.90	▲0.44	0.07
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワ ークの構築	・ 地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・ 地域ケア会議の開催に関する事 ・ その他事業に関する事	8.80	9.45	▲0.65	9.20	9.27	▲0.07	0.40
9	家族介護者支援	・ 家族介護者教室に関する事 ・ 開催内容に関する事 ・ その他事業に関する事	9.90	9.05	0.85	8.97	9.22	▲0.25	▲0.93
10	寄り添い支援活動	・ 孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・ 民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・ その他事業に関する事	8.45	8.87	▲0.42	9.05	8.99	0.06	0.60
合計			90.07	90.54	▲0.48	91.98	92.33	▲0.35	1.91

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 東京蒼生会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター さの

担当地域	加平、北加平町、神明、神明南、辰沼、六木、佐野、大谷田2～5
------	--------------------------------



【評価委員の講評】

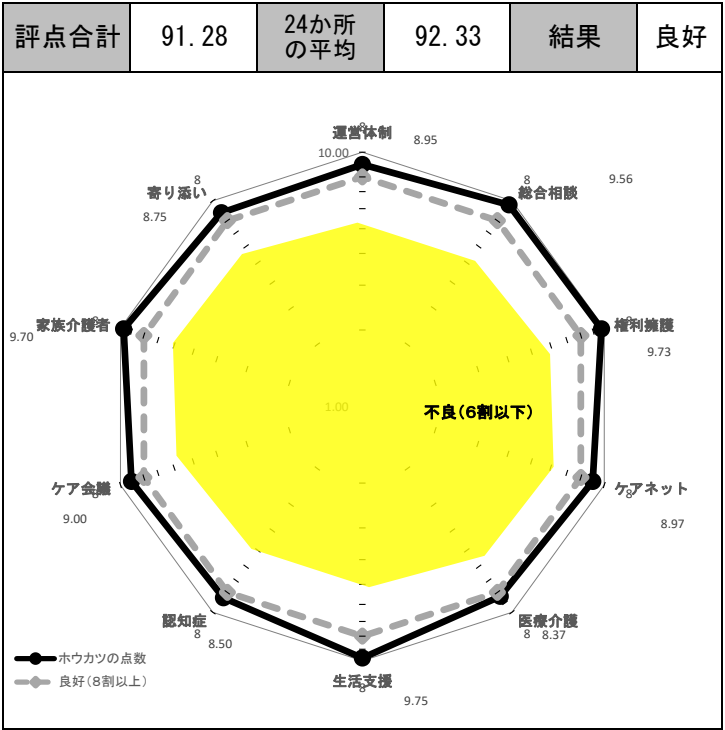
- 維持してほしいこと
①三職種を複数配置した事は非常に評価できます。また、職場づくりを第一に考えている様子も伺えることから、今後も、安定した運営体制が維持できるように、法人からの協力体制を維持してほしいです。
②集合住宅での実態把握訪問をする前に、対象者宅のみにチラシを投函するのではなく、他居住者にも実態把握に関する周知をする必要があると考え、掲示板にポスターを掲出しているアイデアは素晴らしいです。
③中学校と連携し、認知症サポーター養成講座を開催している点が素晴らしいです。
④他のホウカツと違い、家族介護者教室を自主化している。毎月、同じ曜日・時間で開催し、参加者が安定しています。
- 挑戦してほしいこと
①中学校に引き続き、担当地域の小学校とも連携し、認知症の普及啓発と地域のネットワーク構築に挑戦して欲しいです。
②法人内のプライバシーポリシーを整備しつつMCSの活用を促すことで、流動的な状況共有を率先して欲しいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.49	9.26	0.23	9.65	9.33	0.32	0.16
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	9.58	8.78	0.80	9.50	9.06	0.44	▲0.08
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	9.60	9.86	▲0.26	10.00	9.83	0.17	0.40
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.10	9.15	▲0.05	9.57	9.46	0.11	0.47
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	9.07	8.64	0.43	9.87	8.84	1.02	0.80
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.75	8.96	0.79	9.40	9.43	▲0.03	▲0.35
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.20	8.53	▲0.33	9.60	8.90	0.70	1.40
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	10.00	9.45	0.55	9.20	9.27	▲0.07	▲0.80
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.80	9.05	0.75	9.60	9.22	0.38	▲0.20
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	9.45	8.87	0.58	9.20	8.99	0.21	▲0.25
合計			94.04	90.54	3.49	95.58	92.33	3.25	1.55

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 足立邦栄会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 鹿浜

担当地域	鹿浜、加賀、血沼、谷在家、椿
------	----------------



【評価委員の講評】

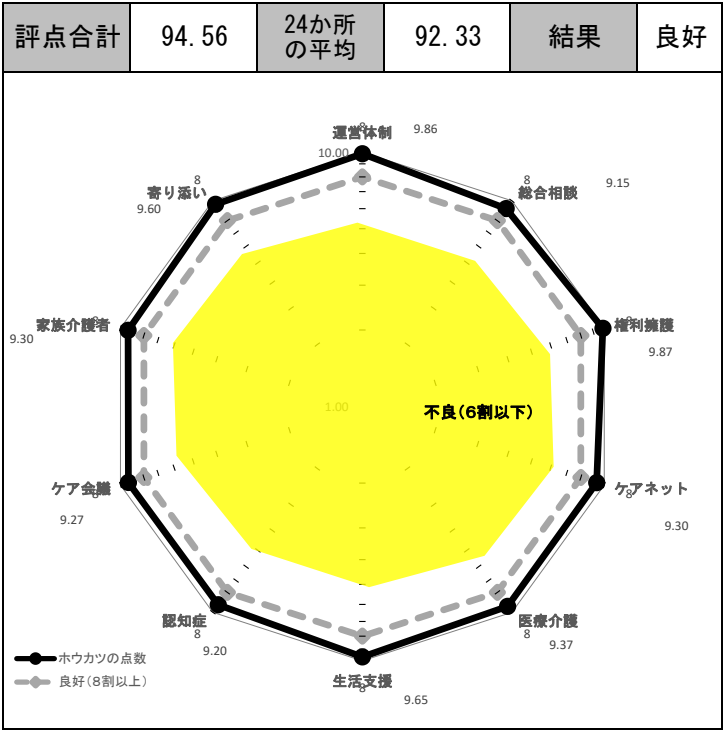
- 維持してほしいこと
①経験者・未経験者の採用活動を継続し、困難な状況下でも職員の入れ替わりの対応を行っていました。職員定着と成長を目指し、前向きに努力する姿勢があります。今後も引き続き、人員体制の安定化を目指して取り組んでいただくことを期待します。
②職員同士の連携と風通しの良い環境づくりを進め、多様な働き方を受け入れる体制整備が進んでいます。実態把握を軸にした全体像の共有も評価できます。
③業務時間内での研修実施を目指し、就業時間を変更したことは高評価です。また、採用から1か月までに限らず、理解度に応じた研修開催を望みます。
- 課題
①上半期で退職者3名は、区内ホウカツでは多数です。原因は体調不良との事ですが、問題はどこにあったのか考え、職員配置や執務環境、業務バランスを見直すべきではないでしょうか。
- 挑戦してほしいこと
①担当地域の小学校1校と中学校2校で、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の普及啓発や地域包括のネットワーク構築に力を入れてほしいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	6.44	9.26	▲2.82	8.95	9.33	▲0.38	2.51
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	9.37	8.78	0.59	9.56	9.06	0.50	0.19
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	9.60	9.86	▲0.26	9.73	9.83	▲0.09	0.13
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	8.90	9.15	▲0.25	8.97	9.46	▲0.49	0.07
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	9.60	8.64	0.96	8.37	8.84	▲0.48	▲1.23
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.50	8.96	0.54	9.75	9.43	0.32	0.25
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.80	8.53	0.27	8.50	8.90	▲0.40	▲0.30
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.20	9.45	▲0.25	9.00	9.27	▲0.27	▲0.20
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.80	9.05	0.75	9.70	9.22	0.48	▲0.10
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	8.28	8.87	▲0.59	8.75	8.99	▲0.24	0.47
合計			89.49	90.54	▲1.05	91.28	92.33	▲1.05	1.78

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 白寿会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 新田

担当地域	新田、宮城、小台
------	----------



【評価委員の講評】

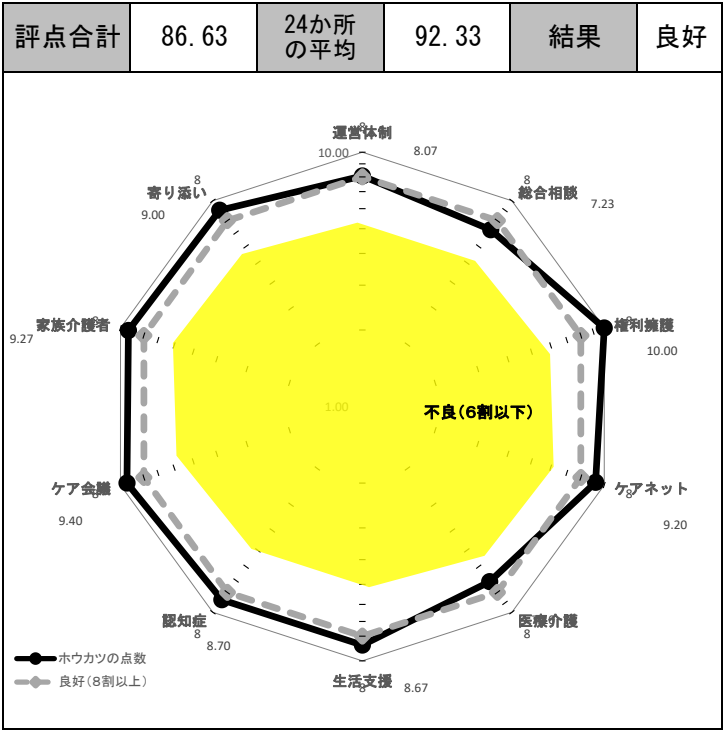
■ 維持してほしいこと
①三職種の複数配置をしており、法人のバックアップもあり、安定した運営を継続できています。日々のミーティングで連携を深め、質の高いチームアプローチを実現しています。
②風通しがよく、職場環境を第一に考えた働きやすい職場環境が構築できています。
③新任の育成は、個別研修で丁寧に対応しているほか、法人内勉強会で専門性を高め、習得度の評価を行いながら成長できる体制が整っています。
④顔出しの広報物は、職員の抵抗があると思いますが、効果は高いと思うので、可能な限り継続をしていただきたいです。
⑤高校と連携した認知症サポーター養成講座は、素晴らしい取り組みです。
⑥家族介護者教室は、参加者の不安や悩みを解決する場として、グループと個別に分けて開催をしているようです。今後も参加者ファーストで開催をしていただきたいです。
■ 挑戦してほしいこと
①担当地域の小中学校と連携した認知症サポーター養成講座を行い、認知症の普及啓発と地域のネットワーク構築に挑戦していただきたいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	10.00	9.26	0.74	9.86	9.33	0.53	▲0.14
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	8.97	8.78	0.19	9.15	9.06	0.09	0.18
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	9.60	9.86	▲0.26	9.87	9.83	0.04	0.27
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.10	9.15	▲0.05	9.30	9.46	▲0.16	0.20
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	8.30	8.64	▲0.34	9.37	8.84	0.52	1.07
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.65	8.96	0.69	9.65	9.43	0.22	0.00
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.10	8.53	▲0.43	9.20	8.90	0.30	1.10
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.47	9.45	0.02	9.27	9.27	▲0.01	▲0.20
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.00	9.05	▲0.05	9.30	9.22	0.08	0.30
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	9.00	8.87	0.13	9.60	8.99	0.61	0.60
合計			91.19	90.54	0.64	94.56	92.33	2.23	3.37

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 足立区社会福祉協議会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 関原

担当地域	梅田2～8
------	-------



【評価委員の講評】

- 維持してほしいこと
- ①多様な福祉分野での経験を持つ職員が配置され、幅広い視点で地域の支援に取り組んでいる点が素晴らしいです。
- ②異動者への丁寧な指導と研修によるスキル向上も大きな強みです。センター内のベテラン職員の割合が増えるように今後も人材育成と体制整備に励んでいただきたいです。
- ③顔出しの広報物は、職員の抵抗があると思います、効果は高いため、可能な限り継続してほしいです。
- ④家族介護者教室は、開催方法や開催日時を工夫している点が評価できます。今後も、アンケートを取りながら、参加者ファーストで開催をしてほしいです。

■ 課題

- ①中長期的に計画を立てて、受託している2か所のホウカツで、安定した運営体制が維持できるように、法人からの積極的な協力体制をお願いします。

■ 挑戦してほしいこと

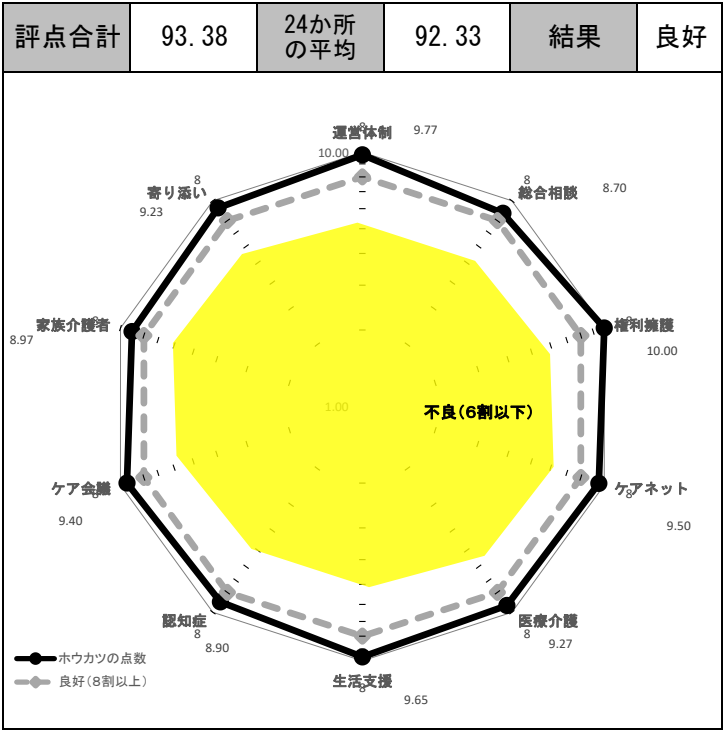
- ①担当地域の小学校（2校）・中学校（2校）と連携し、認知症の普及啓発と地域のネットワーク構築に挑戦して欲しいです。
- ②属人的にならないように、ミーティングや職場内研修を充実させていけると良いです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・ 履行期間中の運営体制に関する事 ・ 3職種の配置状況に関する事 ・ 職員の人材確保及び育成に関する事 ・ その他体制に関する事	9.06	9.26	▲0.20	8.07	9.33	▲1.26	▲1.00
2	総合相談支援	・ 総合相談、実態把握に関する事 ・ 地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・ 出張相談窓口に関する事 ・ その他業務に関わる事	7.66	8.78	▲1.12	7.23	9.06	▲1.83	▲0.43
3	権利擁護	・ 高齢者虐待の対応に関する事 ・ 関係機関との連携に関する事 ・ その他業務に関わる事	9.73	9.86	▲0.13	10.00	9.83	0.17	0.27
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・ 地域ケアネットワークの開催に関する事 ・ 介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・ その他業務に関わる事	8.93	9.15	▲0.21	9.20	9.46	▲0.26	0.27
5	医療・介護連携推進	・ 多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・ 研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・ 医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	8.30	8.64	▲0.34	7.10	8.84	▲1.74	▲1.20
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・ 資源リストに関する事 ・ 絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に関する事 ・ 自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.05	8.96	0.09	8.67	9.43	▲0.76	▲0.38
7	認知症施策関連	・ 認知症サポーター養成講座に関する事 ・ 認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・ 本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・ 早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・ その他事業に関する事	8.17	8.53	▲0.36	8.70	8.90	▲0.20	0.53
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワーク の構築	・ 地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・ 地域ケア会議の開催に関する事 ・ その他事業に関する事	9.20	9.45	▲0.25	9.40	9.27	0.13	0.20
9	家族介護者支援	・ 家族介護者教室に関する事 ・ 開催内容に関する事 ・ その他事業に関する事	9.77	9.05	0.72	9.27	9.22	0.05	▲0.50
10	寄り添い支援活動	・ 孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・ 民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・ その他事業に関する事	8.68	8.87	▲0.19	9.00	8.99	0.01	0.32
合計			88.56	90.54	▲1.99	86.63	92.33	▲5.70	▲1.93

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	特定非営利活動法人 ケアサポーター・もやい
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 千住西

担当地域	千住桜木、千住緑町、千住龍田町、千住中居町、千住宮元町、千住仲町、千住河原町、千住橋戸町
------	--



【評価委員の講評】

■ 維持してほしいこと
①町会の集まりに毎月顔を出すことで、顔の見える関係性を構築できているほか、警察・民生委員とも関係性が構築できています。
②中学校の職場実習により、学生や保護者にホウカツの理解が進んだと思われます。
③パワフルなセンター長のマネジメント力により、職員全員で様々な取り組みに挑戦している様子が伺えました。
④大学の実習生の受け入れや、弁護士相談会等、幅広い分野の研修会を開催することで、知識を身に付けている様子が伺えます。

■ 課題
①安定した運営体制を維持できている一方で、法人内に介護職員やホウカツへの異動希望者が少ないとのことでした。法人の協力を得て人材確保に注力していただければと思います。
②認知症を認めない方、望んで孤立している人、金銭管理ができない人等に対し、職員一丸となって解決に取り組んでいただきたいと思います。

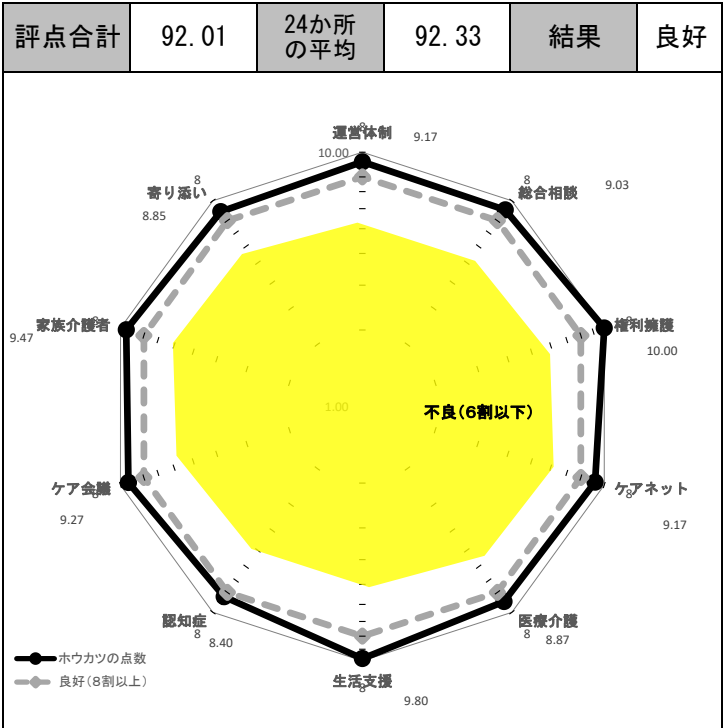
■ 挑戦してほしいこと
①「人生100年時代」をテーマに千住の街を元気にしたいとお話がありました。住民中心の地域を実現することを期待しています。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.99	9.26	0.73	9.77	9.33	0.44	▲0.22
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	8.39	8.78	▲0.39	8.70	9.06	▲0.36	0.31
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	10.00	9.83	0.17	0.00
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.10	9.15	▲0.05	9.50	9.46	0.04	0.40
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	9.60	8.64	0.96	9.27	8.84	0.42	▲0.33
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.80	8.96	0.84	9.65	9.43	0.22	▲0.15
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.50	8.53	▲0.03	8.90	8.90	▲0.00	0.40
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.60	9.45	0.15	9.40	9.27	0.13	▲0.20
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	7.97	9.05	▲1.08	8.97	9.22	▲0.25	1.00
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	8.28	8.87	▲0.59	9.23	8.99	0.24	0.95
合計			91.23	90.54	0.69	93.38	92.33	1.05	2.15

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	医療法人財団 健和会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 千寿の郷

担当地域	柳原、千住閑屋町、千住曙町、千住東1
------	--------------------



【評価委員の講評】

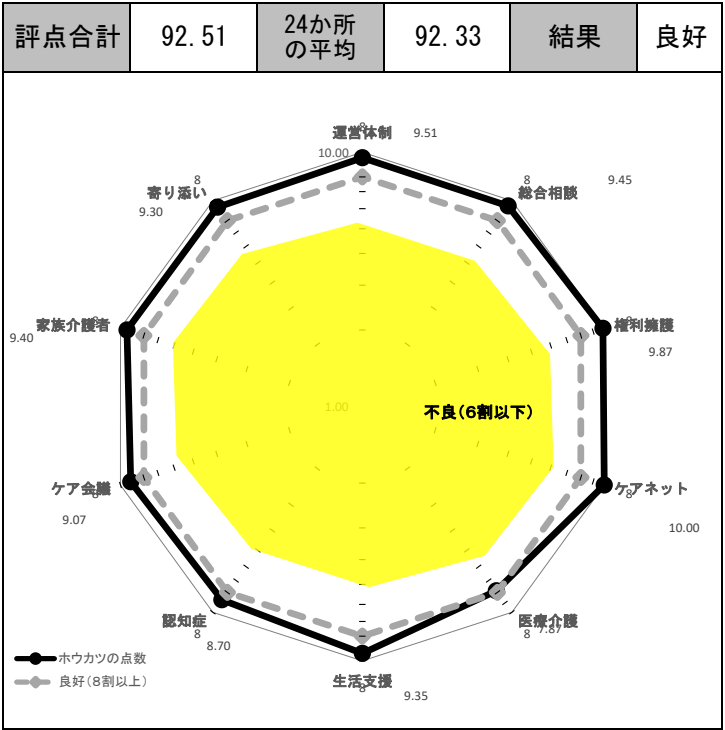
- 維持してほしいこと
①職員同士だけではなく、法人でも研修や事例検討などを実施していることで、組織として相談ができる体制が整っています。
②通いの場の立ち上げ時、維持を視野に入れて立ち上げている点がとても良いと思います。
③民生委員と連携した熱中症訪問は、今後もぜひ続けていただきたいです。
④地域とのネットワークが活用できています。地域のケアマネとも連携が取れていると感じました。
⑤認知症サポーター養成講座をスーパーへ展開できないか検討するなど、地域一体となった体制を目指す姿勢が伺えました。
- 課題
①主任ケアマネの確保や異動等が難しいとのことでしたので、法人の協力を得て、職員の育成や異動サイクルを構築していただきたいです。職員の負担にならないことを願っています。
- 挑戦してほしいこと
①地域ケア会議で地域活動できていない住民へのアプローチ方法を今後検討していくとのお話がありました。期待していますので、ぜひ挑戦してください。
②新たな自主グループの発掘も尽力いただきたいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・ 履行期間中の運営体制に関する事 ・ 3職種の配置状況に関する事 ・ 職員の人材確保及び育成に関する事 ・ その他体制に関する事	8.78	9.26	▲0.48	9.17	9.33	▲0.16	0.39
2	総合相談支援	・ 総合相談、実態把握に関する事 ・ 地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・ 出張相談窓口に関する事 ・ その他業務に関わる事	8.44	8.78	▲0.34	9.03	9.06	▲0.03	0.59
3	権利擁護	・ 高齢者虐待の対応に関する事 ・ 関係機関との連携に関する事 ・ その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	10.00	9.83	0.17	0.00
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・ 地域ケアネットワークの開催に関する事 ・ 介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・ その他業務に関わる事	9.30	9.15	0.15	9.17	9.46	▲0.29	▲0.13
5	医療・介護連携推進	・ 多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・ 研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・ 医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	8.80	8.64	0.16	8.87	8.84	0.02	0.07
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・ 資源リストに関する事 ・ 絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・ 自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	6.95	8.96	▲2.01	9.80	9.43	0.37	2.85
7	認知症施策関連	・ 認知症サポーター養成講座に関する事 ・ 認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・ 本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・ 早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・ その他事業に関する事	8.50	8.53	▲0.03	8.40	8.90	▲0.50	▲0.10
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・ 地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・ 地域ケア会議の開催に関する事 ・ その他事業に関する事	8.60	9.45	▲0.85	9.27	9.27	▲0.01	0.67
9	家族介護者支援	・ 家族介護者教室に関する事 ・ 開催内容に関する事 ・ その他事業に関する事	9.77	9.05	0.72	9.47	9.22	0.25	▲0.30
10	寄り添い支援活動	・ 孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・ 民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・ その他事業に関する事	8.80	8.87	▲0.07	8.85	8.99	▲0.14	0.05
合計			87.94	90.54	▲2.60	92.01	92.33	▲0.32	4.07

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 杉の子
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 中央本町

担当地域	中央本町3～5、青井1・3～6、西加平
------	---------------------



【評価委員の講評】

■ 維持してほしいこと
①地域から色々な意見が出る関係性ができていると思います。その中でも、掲示板を利用してテーマを持ち寄り、住民に和やかな聞き取りが出来ている点は素晴らしいです。
②OJTにて様々な職員が教える立場になることで、属人的な運営体制を回避し、相互にスキルアップできる環境にしている点が良いです。
③一般区民が参加する会議において、事前説明や役回りを行い、寄り添っている姿勢が良いです。

■ 課題
①自主グループやサロンが積極的に多数運営されていますが、定期的に赴くことで、職員の負担になっている可能性があるため、自立を促す支援に切り替えていくことが望ましいと思います。

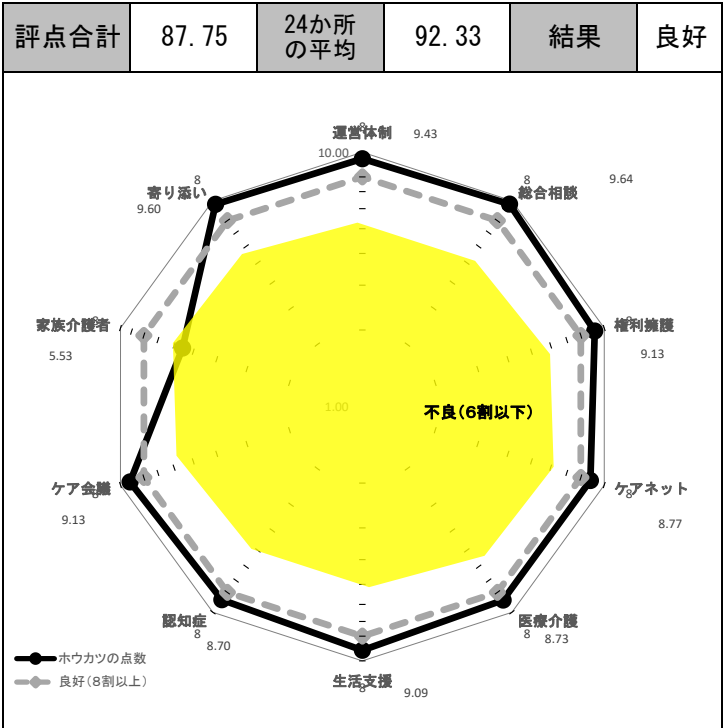
■ 挑戦してほしいこと
①精神疾患の方に対応する関係機関を一同に介して交流するなど、多角的な支援を積極的に取り入れてほしいです。
②孤食や墓じまいなどの対応策として、共食の場づくりや自分ノートの活用に取り組んで欲しいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.19	9.26	▲0.07	9.51	9.33	0.18	0.32
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	8.09	8.78	▲0.69	9.45	9.06	0.39	1.36
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	9.87	9.83	0.04	▲0.13
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.60	9.15	0.45	10.00	9.46	0.54	0.40
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	8.80	8.64	0.16	7.87	8.84	▲0.98	▲0.93
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	8.15	8.96	▲0.81	9.35	9.43	▲0.08	1.20
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.70	8.53	0.17	8.70	8.90	▲0.20	0.00
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.60	9.45	0.15	9.07	9.27	▲0.21	▲0.53
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.40	9.05	0.35	9.40	9.22	0.18	0.00
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	9.20	8.87	0.33	9.30	8.99	0.31	0.10
合計			90.73	90.54	0.19	92.51	92.33	0.18	1.78

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 健修会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 東和

担当地域	綾瀬、東綾瀬、谷中、東和１・３
------	-----------------



【評価委員の講評】

■ 維持してほしいこと
①顔出しの広報物は、職員の抵抗があると思いますが、効果は高いと思うので、可能な限り継続をしてほしいです。
②ホウカツ通信を町会自治会等へ手渡しして、顔が見える関係を心掛けている点が素晴らしいです。
③各種研修への参加が多いと感じました。スキルアップのために、今後も継続してほしいです。

■ 課題
①新規や異動職員の育成期間が定まっておらず、教育担当に任せているように感じました。退職者を出さず、安定した運営体制を構築するために、法人やホウカツ内で育成の方針を定めてほしいです。
②関係機関との連携について、勤務時間になる場合もあるが、法人の協力を得ながら無理のない範囲で行ってほしいです。

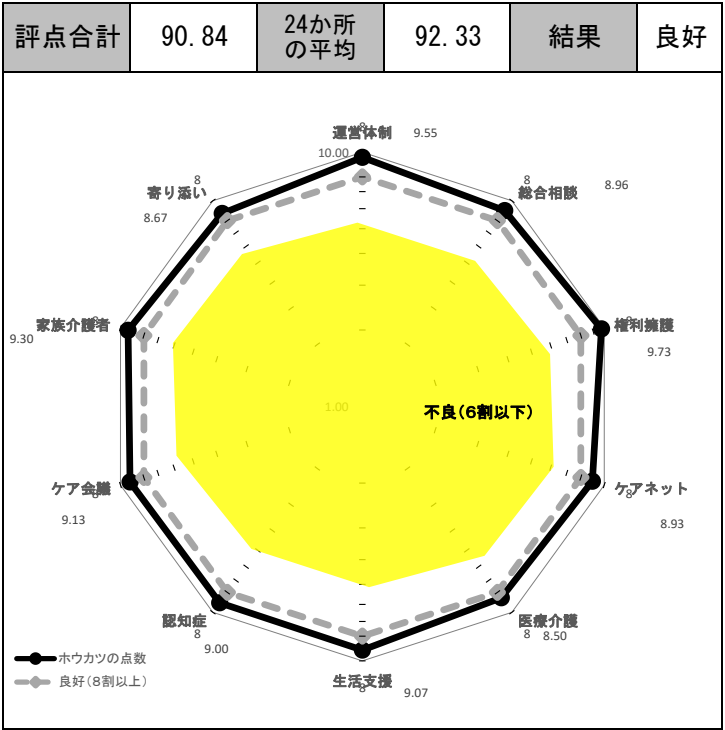
■ 挑戦してほしいこと
①今後は、周辺の小・中学校と連携し、認知症の普及啓発と地域のネットワーク構築に力を入れてほしいです。
②MCSの活用を積極的に取り入れてほしいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・ 履行期間中の運営体制に関する事 ・ 3職種の配置状況に関する事 ・ 職員の人材確保及び育成に関する事 ・ その他体制に関する事	8.47	9.26	▲0.79	9.43	9.33	0.10	0.95
2	総合相談支援	・ 総合相談、実態把握に関する事 ・ 地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・ 出張相談窓口に関する事 ・ その他業務に関わる事	8.04	8.78	▲0.74	9.64	9.06	0.58	1.60
3	権利擁護	・ 高齢者虐待の対応に関する事 ・ 関係機関との連携に関する事 ・ その他業務に関わる事	9.13	9.86	▲0.73	9.13	9.83	▲0.69	0.00
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・ 地域ケアネットワークの開催に関する事 ・ 介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・ その他業務に関わる事	8.23	9.15	▲0.91	8.77	9.46	▲0.69	0.53
5	医療・介護連携推進	・ 多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・ 研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・ 医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	8.80	8.64	0.16	8.73	8.84	▲0.11	▲0.07
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・ 資源リストに関する事 ・ 絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・ 自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	8.50	8.96	▲0.46	9.09	9.43	▲0.34	0.59
7	認知症施策関連	・ 認知症サポーター養成講座に関する事 ・ 認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・ 本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・ 早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・ その他事業に関する事	7.67	8.53	▲0.86	8.70	8.90	▲0.20	1.03
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・ 地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・ 地域ケア会議の開催に関する事 ・ その他事業に関する事	8.80	9.45	▲0.65	9.13	9.27	▲0.14	0.33
9	家族介護者支援	・ 家族介護者教室に関する事 ・ 開催内容に関する事 ・ その他事業に関する事	7.47	9.05	▲1.58	5.53	9.22	▲3.68	▲1.93
10	寄り添い支援活動	・ 孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・ 民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・ その他事業に関する事	9.35	8.87	0.48	9.60	8.99	0.61	0.25
合計			84.46	90.54	▲6.08	87.75	92.33	▲4.58	3.29

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	医療法人社団 成仁
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 中川

担当地域	東和2・4・5、中川、大谷田1
------	-----------------



【評価委員の講評】

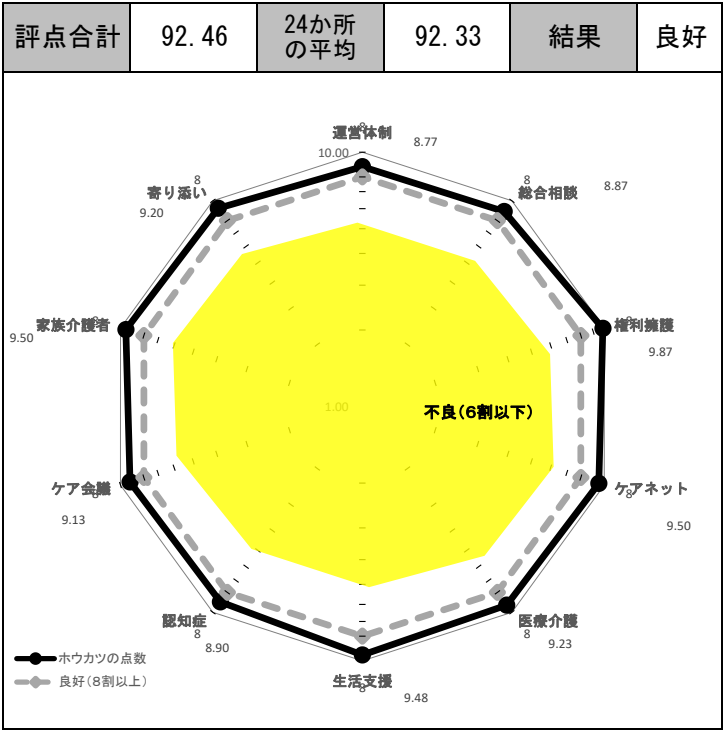
- 維持してほしいこと
①団地との連携会議等、地域の自治会と協力して地域のネットワークを確実に広げるとともに、ホウカツの知名度のみならず、実際の相談先として認識してもらえるような活動を今後も続けてほしいです。特に、住民祭りへの参加やサロンへの顔出し等、顔の見える関係は是非とも継続していただきたいです。
②「中川だより」は、掲示板に貼っていても読みやすく解りやすいため、良くできていると思います。
- 課題
①法改正により、新たに指定居宅支援の直営による契約が可能となりましたが、制度初期のため、利用者にとって一番良い形はどのようなものか、関係者間で模索していただきたいです。
- 挑戦してほしいこと
①認知症地域支援推進員と連携し、チームオレンジ等の取り組みを積極的に実施していただきたいです。
②担当地域の小中学校と連携した認知症サポーター養成講座を行い、認知症の普及啓発と地域のネットワーク構築に挑戦していただきたいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.14	9.26	▲0.12	9.55	9.33	0.22	0.41
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	9.22	8.78	0.44	8.96	9.06	▲0.10	▲0.26
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	9.73	9.83	▲0.09	▲0.27
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.40	9.15	0.25	8.93	9.46	▲0.53	▲0.47
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	7.50	8.64	▲1.14	8.50	8.84	▲0.34	1.00
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.25	8.96	0.29	9.07	9.43	▲0.36	▲0.18
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.90	8.53	0.37	9.00	8.90	0.10	0.10
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.80	9.45	0.35	9.13	9.27	▲0.14	▲0.67
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	10.00	9.05	0.95	9.30	9.22	0.08	▲0.70
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	8.33	8.87	▲0.54	8.67	8.99	▲0.33	0.33
合計			91.54	90.54	1.00	90.84	92.33	▲1.49	▲0.70

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 愛寿会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 西綾瀬

担当地域	西綾瀬、弘道、青井2
------	------------



【評価委員の講評】

■ 維持してほしいこと
①運営体制について、課題として挙げていたホウカツ異動者への周知や多世代への発信に寄与することから、ホウカツ業務を積極的にSNSで発信することを是非とも続けてほしいです。

■ 課題
①職員の経験の浅さやマニュアルの整備不足が窺えます。リーダーの孤立や異動希望者が少ないという声があったことから、育成環境の整備が必要です。
②自主グループについて、属人的になってしまっているグループが多いことから、負担を均すようにグループ全体での活動を支援する必要があります。

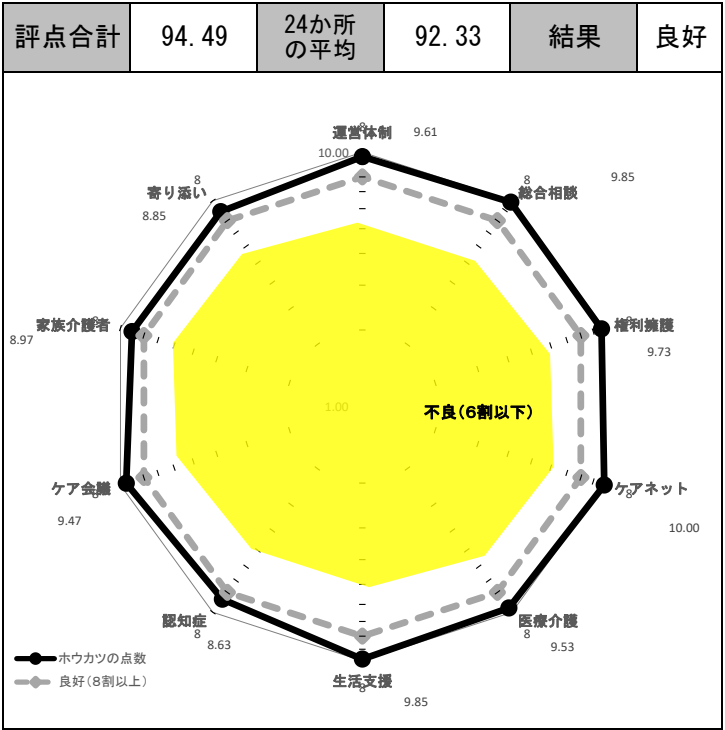
■ 挑戦してほしいこと
①ホウカツ内での会議や検討を通して、個々のスキルアップに寄与していくと良いです。地域ケア会議などで触れた困難ケースを他機関とじっくり検討するなど、解決策の幅を広げていけることが望ましいです。
②買い物難民地域に向けて、食料品や日用品などの販売車招待を広げていってほしいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.35	9.26	0.09	8.77	9.33	▲0.55	▲0.58
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	9.08	8.78	0.30	8.87	9.06	▲0.19	▲0.21
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	9.87	9.83	0.04	▲0.13
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.50	9.15	0.35	9.50	9.46	0.04	0.00
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	7.77	8.64	▲0.87	9.23	8.84	0.39	1.47
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	8.95	8.96	▲0.01	9.48	9.43	0.05	0.53
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.60	8.53	0.07	8.90	8.90	▲0.00	0.30
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.60	9.45	0.15	9.13	9.27	▲0.14	▲0.47
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.40	9.05	0.35	9.50	9.22	0.28	0.10
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	8.62	8.87	▲0.25	9.20	8.99	0.21	0.58
合計			90.86	90.54	0.32	92.46	92.33	0.13	1.59

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 西新井だいわ会
ハウカツ名	足立区地域包括支援センター 西新井

担当地域	西新井、栗原
------	--------



【評価委員の講評】

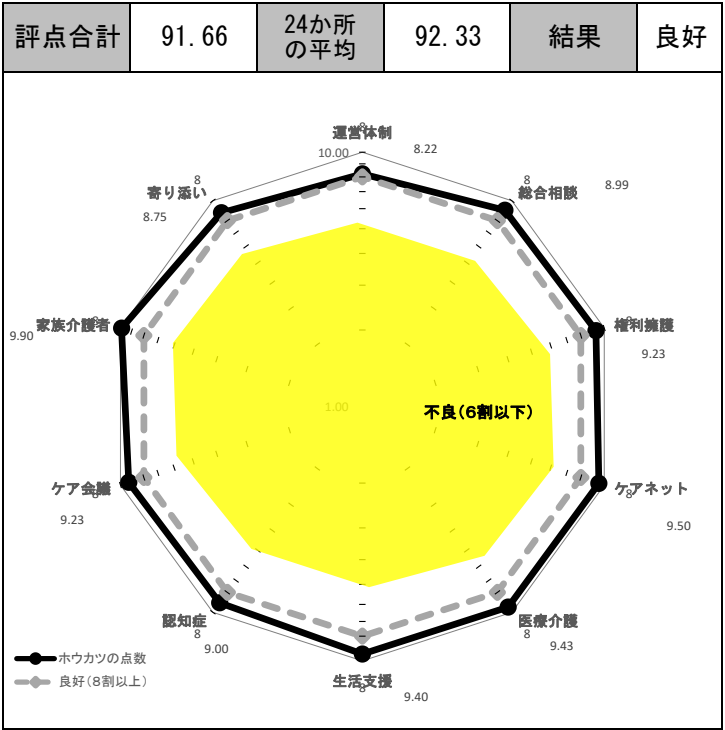
- 維持してほしいこと
①話しやすい職場環境や新任職員の支援を目的としたチューター制度は、今後も維持してほしいと思います。
②小学校での認知症サポーター養成講座は、校長などが異動しても、次年度もこれまで同様の関係を維持し、開催を継続してほしいと思います。
③家族介護者教室は、参加者の安定を図るため、毎月定期開催（曜日・時間を固定）をしています。参加者ファーストで、顔の見える関係が構築でき、参加者の不安や悩みが解消されると思いますので、令和7年度もこの取り組みを継続してほしいです。
④出張相談窓口の一環として、多世代交流まつりを開催しています。病院や薬局等関係先との打ち合わせを重ね、地域ネットワーク構築を図ったところは高評価です。
- 課題
①職員が入職後から半年までは、退職が多いといわれる期間ですので、個別研修を開催するなど、手厚い支援が求められます。
- 挑戦してほしいこと
①積極的なアプローチや地道な努力で、地域と良好な関係を構築してほしい。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.50	9.26	0.24	9.61	9.33	0.28	0.11
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	7.92	8.78	▲0.86	9.85	9.06	0.79	1.93
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	9.87	9.86	0.01	9.73	9.83	▲0.09	▲0.13
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	8.80	9.15	▲0.35	10.00	9.46	0.54	1.20
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	7.90	8.64	▲0.74	9.53	8.84	0.69	1.63
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.42	8.96	0.46	9.85	9.43	0.42	0.43
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	9.33	8.53	0.80	8.63	8.90	▲0.27	▲0.70
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.40	9.45	▲0.05	9.47	9.27	0.19	0.07
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.00	9.05	▲0.05	8.97	9.22	▲0.25	▲0.03
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	8.95	8.87	0.08	8.85	8.99	▲0.14	▲0.10
合計			90.09	90.54	▲0.45	94.49	92.33	2.16	4.40

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	医療法人社団 八葉会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 西新井本町

担当地域	西新井本町、西新井栄町
------	-------------



【評価委員の講評】

■ 維持してほしいこと
①重層的な困難ケースについて、保健センターと連携がとれています。今後も関係性維持を図ってほしいです。
②他ホウカツと合同で、通いの場交流会を開催されました。来年度も、ぜひ継続していただきたい取り組みです。
③すべての介護者を対象としたケアラズカフェ（家族介護者教室）を年度内に4回開催しており、ニーズの把握とともに、介護者の支援ができています点は高評価です。

■ 課題
①上半期で数名退職が出ているようです。安定した運営体制には、職員の定着とノウハウの蓄積が必要不可欠ですので、新任職員に対する幅広いサポートに期待したいと思います。

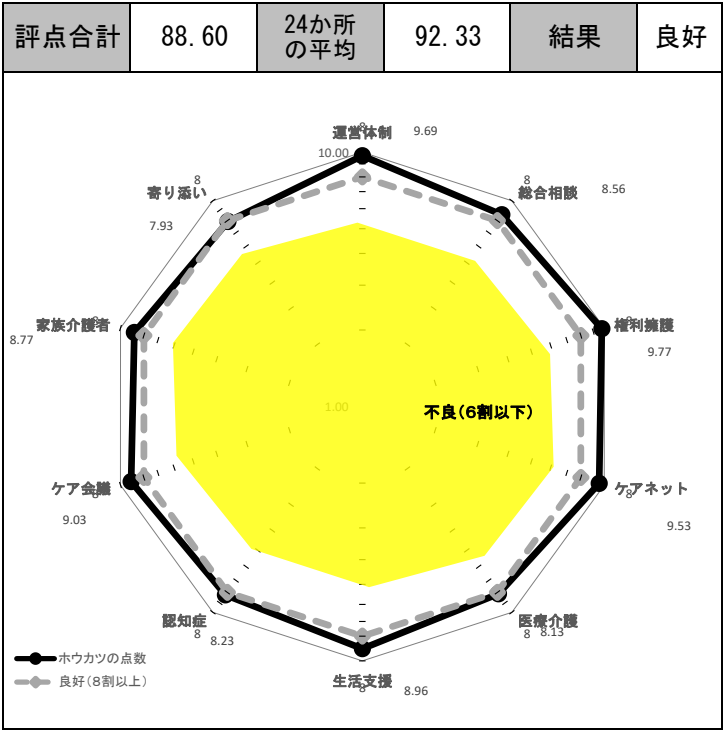
■ 挑戦してほしいこと
①今年度、医療機関や地域とのつながりの中で、新たなネットワークの構築に進展があったとのことですので、ここで止まることなく、引き続きネットワークを広げる活動をお願いします。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	8.65	9.26	▲0.61	8.22	9.33	▲1.11	▲0.43
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	8.78	8.78	▲0.00	8.99	9.06	▲0.07	0.21
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	9.33	9.86	▲0.53	9.23	9.83	▲0.59	▲0.10
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.40	9.15	0.25	9.50	9.46	0.04	0.10
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	8.13	8.64	▲0.51	9.43	8.84	0.59	1.30
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	8.95	8.96	▲0.01	9.40	9.43	▲0.03	0.45
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	9.00	8.53	0.47	9.00	8.90	0.10	0.00
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.80	9.45	0.35	9.23	9.27	▲0.04	▲0.57
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.90	9.05	0.85	9.90	9.22	0.68	0.00
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	9.15	8.87	0.28	8.75	8.99	▲0.24	▲0.40
合計			91.10	90.54	0.55	91.66	92.33	▲0.67	0.56

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 聖風会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター はなはた

担当地域	花畑、南花畑5
------	---------



【評価委員の講評】

■ 維持してほしいこと
①保健師が、東京都看護協会の協力員となって、積極的に活躍しており、良好な関係性を築いているようです。今後も、こうした働きかけは、維持していただきたいです。
②あんしん協力員からの情報提供が、常時入ってくる体制が構築できています。
③世話人会に、参加して知り合った方々を出前口座の講師を依頼して、大変好評を得たとのことでした。今後も、ネットワークを広げて地域情報の連携を推進していただきたい。

■ 課題
①人材確保が困難な点が課題のようです。法人の協力も得ながら、ホウカツのPRを行っていただきたいです。
②高齢介護や権利の相談に時間がかかることがあるため、積極的にコミュニケーションをとることで、スムーズな連携ができるよう期待します。

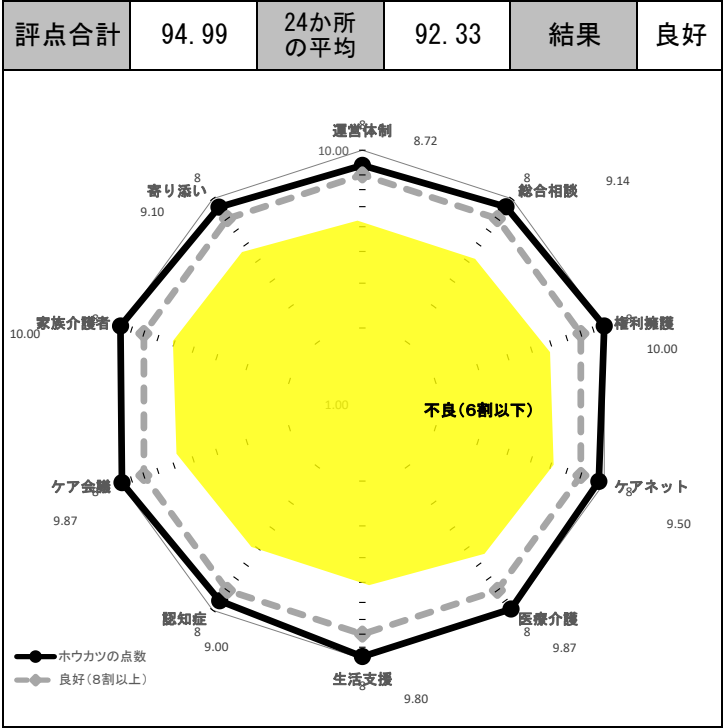
■ 挑戦してほしいこと
①小中高生を対象にした認知症サポーター養成講座に挑戦し、認知症の普及啓発に取り組んでいただきたいです。
②近くの商業施設や関係機関との連携を深めることで、協力体制の構築に尽力いただきたいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.99	9.26	0.73	9.69	9.33	0.36	▲0.30
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	8.64	8.78	▲0.14	8.56	9.06	▲0.50	▲0.08
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	9.77	9.83	▲0.06	▲0.23
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.10	9.15	▲0.05	9.53	9.46	0.07	0.43
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	8.80	8.64	0.16	8.13	8.84	▲0.71	▲0.67
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.42	8.96	0.46	8.96	9.43	▲0.47	▲0.46
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.50	8.53	▲0.03	8.23	8.90	▲0.67	▲0.27
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	8.60	9.45	▲0.85	9.03	9.27	▲0.24	0.43
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.10	9.05	0.05	8.77	9.22	▲0.45	▲0.33
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	8.85	8.87	▲0.02	7.93	8.99	▲1.06	▲0.92
合計			91.00	90.54	0.45	88.60	92.33	▲3.73	▲2.39

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会医療法人社団 慈生会
ハウカツ名	足立区地域包括支援センター 一ツ家

担当地域	平野、一ツ家、保塚町、六町、南花畑1～4
------	----------------------



【評価委員の講評】

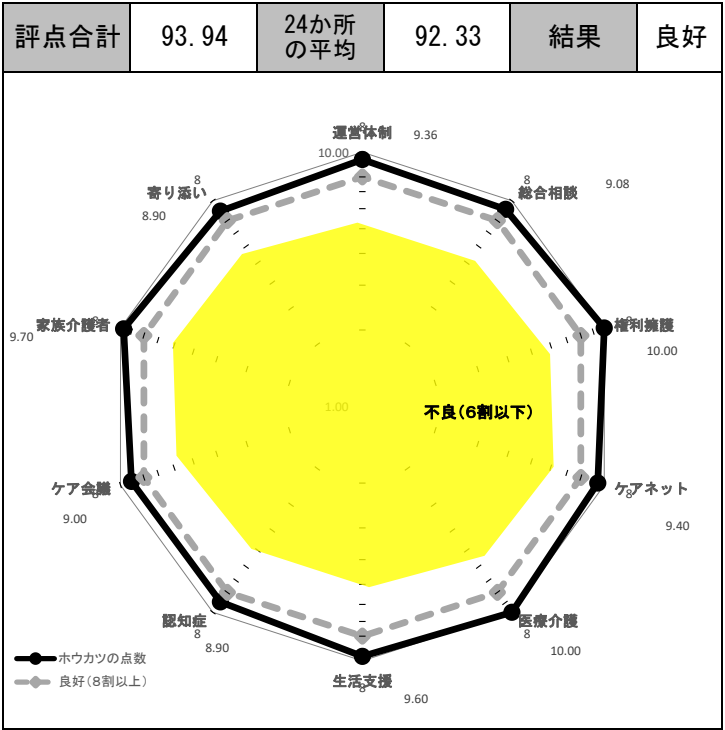
- 維持してほしいこと
①職員の適切な配置と経験豊かな新入職員の確保により、相談対応や個別支援を高い質で維持しています。
②法人と密に連携をとり、ケアマネ勉強会や新任研修の実施、スーパービジョンによる支援で職員のスキル向上と育成を実現。課題にも柔軟に対応し、継続的な質向上に努める姿勢が光ります。
③花保中学校と連携した、認知症サポーター養成講座を開催していることはとても良い取り組みです。
④みんなで元気アップ教室に7回出席しているとのことでした。今後も、住民主体の自主グループの創出に向け、無理のない範囲で継続をしてほしいです。
- 課題
①母体が医療法人ですが、看護師の配置に苦労しているようでした。今後は、中長期計画で法人の協力を得ながら、複数配置を目指し運営の安定を図っていただきたいです。
- 挑戦してほしいこと
①担当地域の小学校と連携した認知症サポーター養成講座にも挑戦していただきたいです。
②歯科委員や薬局との関係の構築を期待します。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.03	9.26	▲0.23	8.72	9.33	▲0.61	▲0.31
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	9.09	8.78	0.31	9.14	9.06	0.08	0.05
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	10.00	9.83	0.17	0.00
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	8.50	9.15	▲0.65	9.50	9.46	0.04	1.00
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	7.90	8.64	▲0.74	9.87	8.84	1.02	1.97
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	8.95	8.96	▲0.01	9.80	9.43	0.37	0.85
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.70	8.53	0.17	9.00	8.90	0.10	0.30
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	10.00	9.45	0.55	9.87	9.27	0.59	▲0.13
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	9.60	9.05	0.55	10.00	9.22	0.78	0.40
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	9.05	8.87	0.18	9.10	8.99	0.11	0.05
合計			90.82	90.54	0.28	94.99	92.33	2.66	4.17

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 東京蒼生会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 日の出

担当地域	日ノ出町、千住旭町、千住東2
------	----------------



【評価委員の講評】

■ 維持してほしいこと
①区内で一番小規模なホウカツですが、三職種を2名ずつ配置出来ていることは大変素晴らしいです。今後も、安定した運営体制を維持できるように、法人との協力体制を維持してほしいです。
②マンツーマン指導や個別研修、集団研修といった、職員への研修制度が大変充実しており、丁寧な対応をしている点が素晴らしいです。
③認知症サポーター養成講座を通して、小学校、中高一貫校、大学と若年層に幅広く認知症の普及活動をされている点は、今後も継続していただきたいです。
④出張相談窓口の開催内容について、スマホ教室や福祉用具体験など、区民の方が興味を引くような取り組みをされている点が、一事業ではなく他の事業やホウカツ業務の周知に繋がっていて素晴らしいと思います。

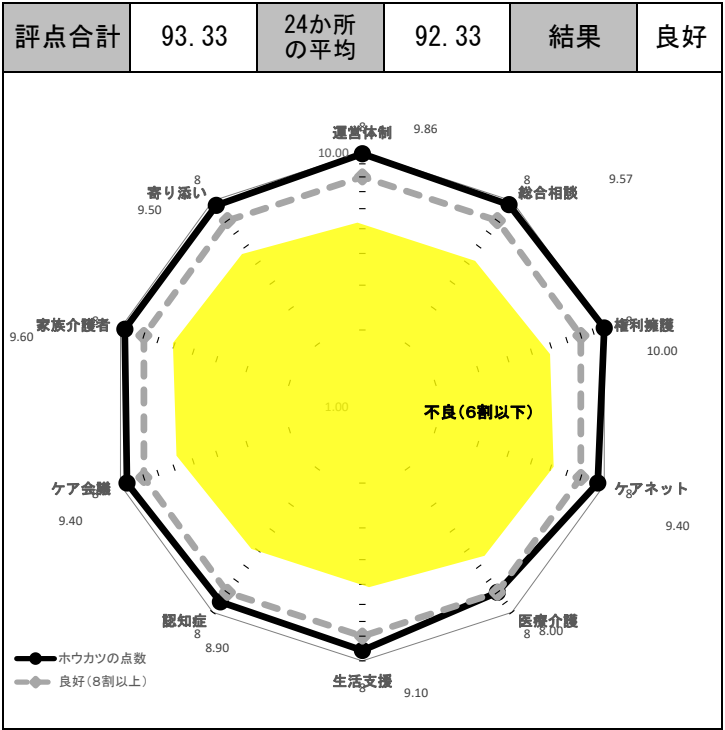
■ 挑戦してほしいこと
①本人ミーティングからネットワーク構築を図り、チームオレンジの取り組みへ繋げるといったような、流動的なネットワーク構築に挑戦してほしいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.38	9.26	0.12	9.36	9.33	0.03	▲0.02
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	8.81	8.78	0.03	9.08	9.06	0.02	0.27
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	10.00	9.83	0.17	0.00
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	8.90	9.15	▲0.25	9.40	9.46	▲0.06	0.50
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	8.80	8.64	0.16	10.00	8.84	1.16	1.20
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	8.35	8.96	▲0.61	9.60	9.43	0.17	1.25
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.20	8.53	▲0.33	8.90	8.90	▲0.00	0.70
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.40	9.45	▲0.05	9.00	9.27	▲0.27	▲0.40
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	7.67	9.05	▲1.38	9.70	9.22	0.48	2.03
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	8.50	8.87	▲0.37	8.90	8.99	▲0.09	0.40
合計			88.01	90.54	▲2.54	93.94	92.33	1.61	5.93

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	医療法人財団 厚生協会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 保木間

担当地域	西保木間、保木間、東保木間
------	---------------



【評価委員の講評】

■ 維持してほしいこと
①経験の浅い職員が多い中でも、新規職員が早期に業務を習得し、総合相談を1人で対応できるまで育成した点は素晴らしいです。看護師採用に対する積極的な取り組みも高く評価します。
②役職者2名が管理業務を着実に引き継ぎ、PDCAサイクルを活用した人材育成が実施できています。
③地域住民と関係性が構築されており、通報により対応できたケースもあるとのことでした。今後も、地域との交流を大切にしてください。
④地域との関わりから地域課題を拾い上げ、会議体のテーマにしているところは良い取り組みです。
⑤福祉まるごと相談課など、案件ごとに連携先を変えた柔軟な対応ができています。

■ 課題
①ひとりケアマネなど、見守る側で孤独を感じている方もいるかと思います。気軽に相談できる関係性を築き、サポートしていただきたいです。

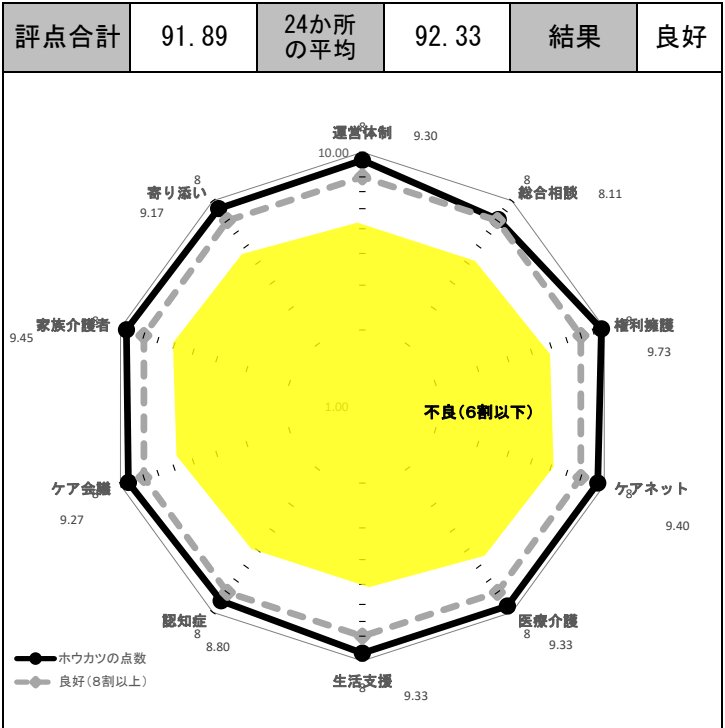
■ 挑戦してほしいこと
①開かれた学校協議会に参加し、保育園から小中学校まで認知症サポーター養成講座の案内ができていますので、今後は実施に繋がっていただきたいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・ 履行期間中の運営体制に関する事 ・ 3職種の配置状況に関する事 ・ 職員の人材確保及び育成に関する事 ・ その他体制に関する事	9.60	9.26	0.34	9.86	9.33	0.53	0.26
2	総合相談支援	・ 総合相談、実態把握に関する事 ・ 地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・ 出張相談窓口に関する事 ・ その他業務に関わる事	9.36	8.78	0.58	9.57	9.06	0.51	0.21
3	権利擁護	・ 高齢者虐待の対応に関する事 ・ 関係機関との連携に関する事 ・ その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	10.00	9.83	0.17	0.00
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・ 地域ケアネットワークの開催に関する事 ・ 介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・ その他業務に関わる事	8.93	9.15	▲0.21	9.40	9.46	▲0.06	0.47
5	医療・介護連携推進	・ 多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・ 研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・ 医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	7.73	8.64	▲0.91	8.00	8.84	▲0.84	0.27
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・ 資源リストに関する事 ・ 絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・ 自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	8.00	8.96	▲0.96	9.10	9.43	▲0.33	1.10
7	認知症施策関連	・ 認知症サポーター養成講座に関する事 ・ 認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・ 本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・ 早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・ その他事業に関する事	8.60	8.53	0.07	8.90	8.90	▲0.00	0.30
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・ 地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・ 地域ケア会議の開催に関する事 ・ その他事業に関する事	9.60	9.45	0.15	9.40	9.27	0.13	▲0.20
9	家族介護者支援	・ 家族介護者教室に関する事 ・ 開催内容に関する事 ・ その他事業に関する事	7.20	9.05	▲1.85	9.60	9.22	0.38	2.40
10	寄り添い支援活動	・ 孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・ 民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・ その他事業に関する事	9.35	8.87	0.48	9.50	8.99	0.51	0.15
合計			88.38	90.54	▲2.17	93.33	92.33	1.00	4.95

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	医療法人社団 福寿会
ハウカツ名	足立区地域包括支援センター 本木関原

担当地域	関原、本木
------	-------



【評価委員の講評】

■ 維持してほしいこと
①運営体制について、法人の協力を得られていることが窺えます。異動の際にベテラン職員を配置することやプリセプター制度・OJTの活用で職員を支えるといった、法人とハウカツ双方から育成環境を整える姿勢が素晴らしいです。
②町内の掲示板を活用し、ハウカツ業務を周知・理解していただくとする取り組みは、今後も継続していただきたいです。
③「みんなで元気アップ教室」に積極的に関わっていることが窺えます。職員の負担が重くなる部分はありますが、可能な範囲で継続していただきたいです。

■ 課題
①母体が医療法人ですが、看護師の配置が難しそうです。今後は、中長期計画で法人の協力を得ながら、複数配置を目指し、運営の安定を図っていただきたいです。

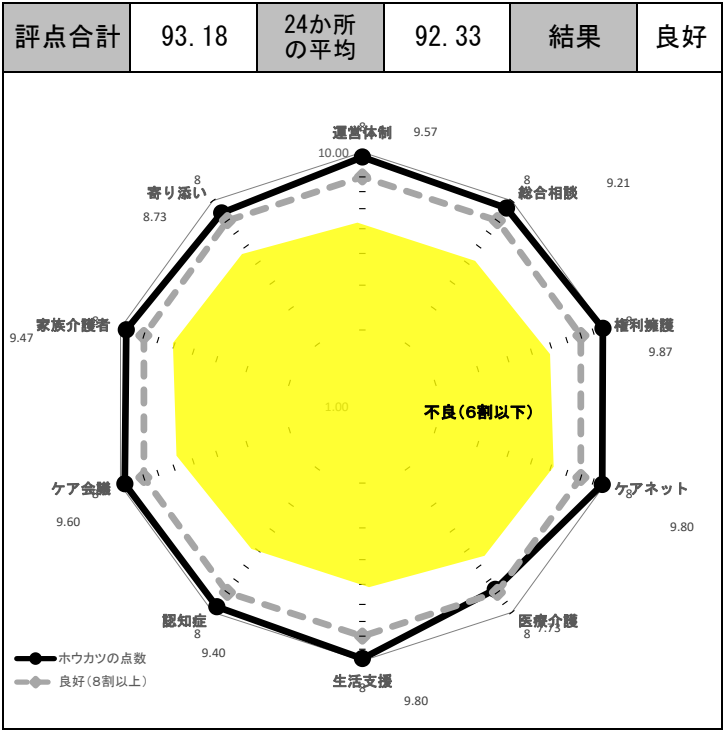
■ 挑戦してほしいこと
①担当地域の小中学校と連携し、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の普及啓発と地域のネットワーク構築に挑戦していただきたいです。また、歯科や薬局との関係づくりやMCSの活用を通して、地域連携を深めてほしいです。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・履行期間中の運営体制に関する事 ・3職種の配置状況に関する事 ・職員の人材確保及び育成に関する事 ・その他体制に関する事	9.34	9.26	0.08	9.30	9.33	▲0.03	▲0.04
2	総合相談支援	・総合相談、実態把握に関する事 ・地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・出張相談窓口に関する事 ・その他業務に関わる事	8.49	8.78	▲0.29	8.11	9.06	▲0.95	▲0.38
3	権利擁護	・高齢者虐待の対応に関する事 ・関係機関との連携に関する事 ・その他業務に関わる事	9.87	9.86	0.01	9.73	9.83	▲0.09	▲0.13
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・地域ケアネットワークの開催に関する事 ・介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・その他業務に関わる事	9.00	9.15	▲0.15	9.40	9.46	▲0.06	0.40
5	医療・介護連携推進	・多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	9.73	8.64	1.09	9.33	8.84	0.49	▲0.40
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・資源リストに関する事 ・絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	8.27	8.96	▲0.69	9.33	9.43	▲0.10	1.06
7	認知症施策関連	・認知症サポーター養成講座に関する事 ・認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・その他事業に関する事	8.57	8.53	0.04	8.80	8.90	▲0.10	0.23
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・地域ケア会議の開催に関する事 ・その他事業に関する事	9.60	9.45	0.15	9.27	9.27	▲0.01	▲0.33
9	家族介護者支援	・家族介護者教室に関する事 ・開催内容に関する事 ・その他事業に関する事	7.03	9.05	▲2.02	9.45	9.22	0.23	2.42
10	寄り添い支援活動	・孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・その他事業に関する事	9.75	8.87	0.88	9.17	8.99	0.17	▲0.58
合計			89.64	90.54	▲0.90	91.89	92.33	▲0.44	2.25

令和6年度 足立区地域包括支援センター 業務委託評価表（案）

受託法人名	社会福祉法人 聖風会
ホウカツ名	足立区地域包括支援センター 六月

担当地域	六月、東六月町、竹の塚
------	-------------



【評価委員の講評】

- 維持してほしいこと
①ホウカツ職員が手薄な状況で、急遽虐待対応が生じた際に、対応一覧を活用し、しっかり連携と対応ができています。ぜひ継続していただきたい点です。
②サンクスカード（感謝の見える化）を活用して、職員や協力員等に感謝を表しています。こうした細やかな思いやりが、ネットワーク構築の礎になると思います。
③町会自治会が担当地域内に26ヶ所あり、さらに依頼があれば断らないとの姿勢は高く評価したいと思います。大変かと思いますが、ぜひ継続していただきたいです。
- 課題
①自主グループの立ち上げ支援に、苦労されているようです。立ち上がった自主グループの活動の継続支援についても、よりよい方法を考えていただきたいと思います。
②職員の高齢化が進んでいる反面、採用の難しさから世代交代が課題だと思います。次世代にノウハウをつないでいくためにも、職員の採用や育成について、引き続き取り組んでほしいです。
- 挑戦してほしいこと
①小中学校との連携で、認知症の理解促進を深めてほしいと思います。

	事業・業務等	概要	令和5年度			令和6年度			対前年度 評点差
			評点	平均	差	評点	平均	差	
1	運営体制	・ 履行期間中の運営体制に関する事 ・ 3職種の配置状況に関する事 ・ 職員の人材確保及び育成に関する事 ・ その他体制に関する事	9.50	9.26	0.24	9.57	9.33	0.24	0.07
2	総合相談支援	・ 総合相談、実態把握に関する事 ・ 地域包括支援ネットワークの構築に関する事 ・ 出張相談窓口に関する事 ・ その他業務に関わる事	9.90	8.78	1.12	9.21	9.06	0.15	▲0.69
3	権利擁護	・ 高齢者虐待の対応に関する事 ・ 関係機関との連携に関する事 ・ その他業務に関わる事	10.00	9.86	0.14	9.87	9.83	0.04	▲0.13
4	包括的・継続的 ケアマネジメント支援	・ 地域ケアネットワークの開催に関する事 ・ 介護予防ケアマネジメント及び予防給付に関する事 ・ その他業務に関わる事	9.60	9.15	0.45	9.80	9.46	0.34	0.20
5	医療・介護連携推進	・ 多職種連携研修、スキルアップ研修に関する事 ・ 研修受講後の共有と業務への反映に関する事 ・ 医療関係者との事例検討会等、その他事業に関わる事	8.40	8.64	▲0.24	7.73	8.84	▲1.11	▲0.67
6	生活支援体制整備及び 一般介護予防	・ 資源リストに関する事 ・ 絆のあんしんネットワーク連絡会（第二層協議体）に 関する事 ・ 自主グループの立ち上げ支援、その他事業に関わる事	9.70	8.96	0.74	9.80	9.43	0.37	0.10
7	認知症施策関連	・ 認知症サポーター養成講座に関する事 ・ 認知症の理解促進に関する住民への普及啓発に関する事 ・ 本人ミーティング、ピアサポートによる活動支援に関する事 ・ 早期発見・早期対応に繋げるための体制整備に関する事 ・ その他事業に関する事	8.70	8.53	0.17	9.40	8.90	0.50	0.70
8	多職種協働による 地域包括支援ネットワー クの構築	・ 地域ケア会議の開催前後の対応事項に関する事 ・ 地域ケア会議の開催に関する事 ・ その他事業に関する事	9.80	9.45	0.35	9.60	9.27	0.33	▲0.20
9	家族介護者支援	・ 家族介護者教室に関する事 ・ 開催内容に関する事 ・ その他事業に関する事	9.70	9.05	0.65	9.47	9.22	0.25	▲0.23
10	寄り添い支援活動	・ 孤立ゼロプロジェクトのアセスメントに関する事 ・ 民生委員、絆のあんしん協力員・機関に関する事 ・ その他事業に関する事	9.18	8.87	0.31	8.73	8.99	▲0.26	▲0.45
合計			94.48	90.54	3.94	93.18	92.33	0.85	▲1.30